

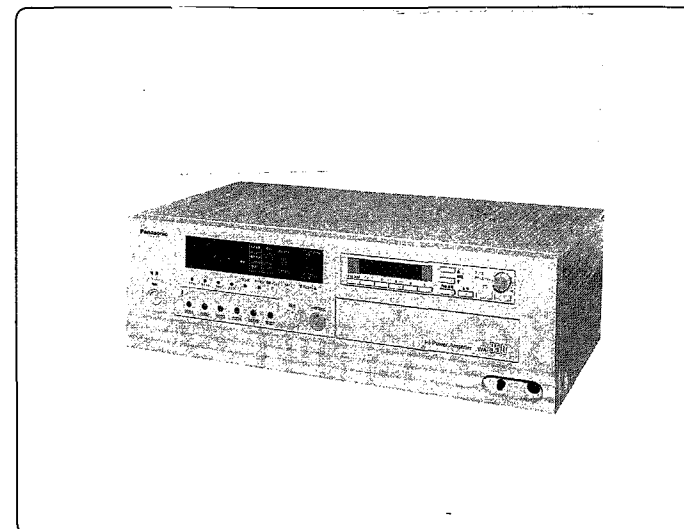
ハイパワーシステムアンプ

プログラムタイマーの使いかた

品番 **WA-950**

取扱説明書

- この説明書と保証書をよくお読みのうへ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、パナソニック ハイパワーシステムアンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

もくじ

概要	2	プログラムの確認のしかた	28~31
各部の名前(タイマー部のみ)	2	■割当曜日の確認	28
プログラムできるもの	3	■曜日割当プログラムグループの確認	29
■プログラムできるもの	3	■プログラム内容の確認	30、31
■プログラムの概要	3	書き込み済みプログラム内容の修正	32~34
■設定の基本手順	4	休止曜日設定のしかた	35~37
プログラム書き込みの準備	5、6	■休止曜日の設定	35、36
■プログラム時間割当シートの作成	5	■休止曜日設定の解除	36、37
■プログラム曜日割当シートの作成	6	■休止曜日の確認	37
■プログラム入力用シートの作成	6	プログラムの消去のしかた	38~41
内蔵時計の時刻を合わせる	7、8	■プログラムの消去	38、39
プログラムの書き込みかた	9~24	■プログラムグループの消去	40、41
■アンプ電源入/切プログラムの書き込み	9~12	プログラムの実行	42、43
■チャイムプログラムの書き込み	13~16	■プログラムの実行	42
■ライン1,2,入力1,2,ラジオ放送プログラムの書き込み	17~20	■プログラムの停止	43
■外部制御出力プログラムの書き込み	21~24	■停電時の動作	43
プログラムを曜日に割り当てる	25~27	付録	44~46
■プログラムを曜日に割り当てる	25、26	プログラム時間割当シート	
■日をまたぐプログラムの書き込み	27	プログラム曜日割当シート	
		プログラム入力用シート	

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ年月日	年 月 日	品番 WA-950
販売店名		電話 () -
最寄りの当社ご相談窓口		電話 () -

松下電器産業株式会社
 松下通信工業株式会社 AVシステム事業部
 〒224 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045) 932-1231 (大代表)

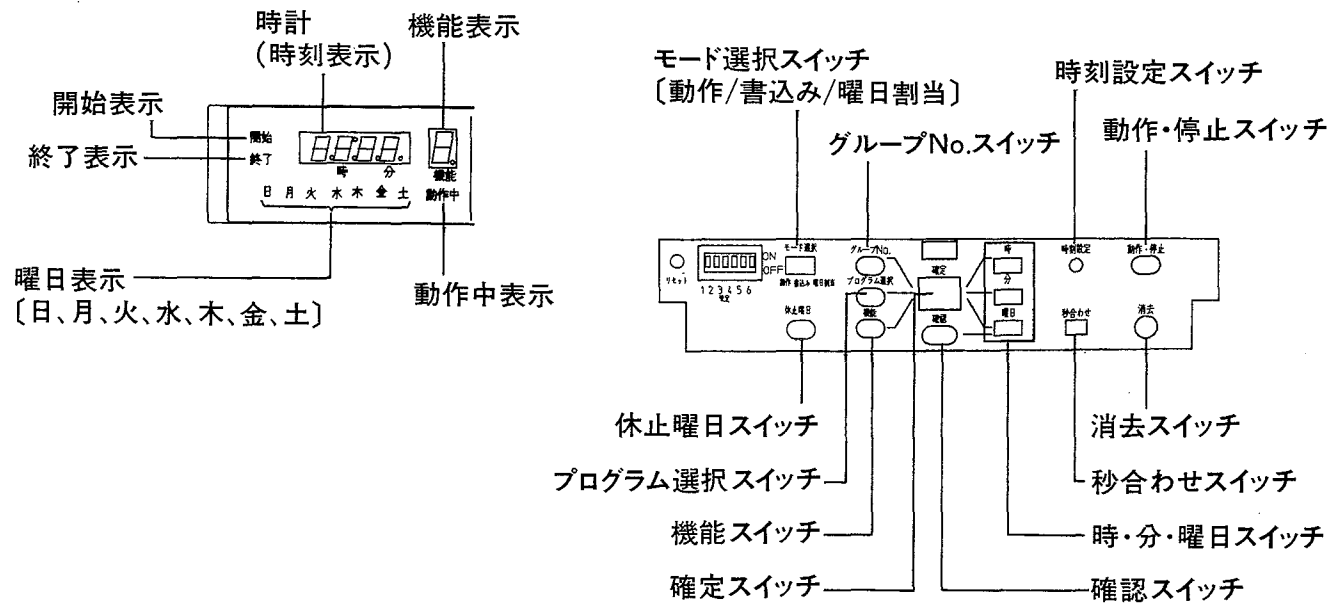
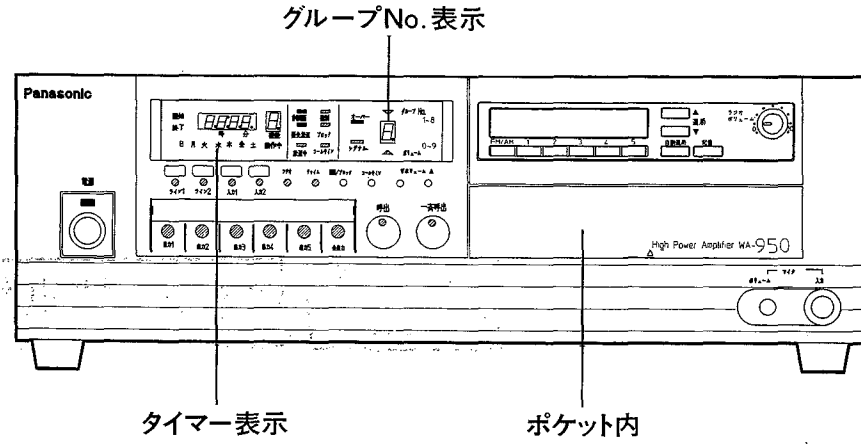
概要

- 予め、曜日、時刻を設定しておき、チャイムやBGM演奏を自動放送できます。
- 最大32ステップのプログラムを8グループ設定できます。これを各曜日に割り当てて、1週間サイクルの自動放送を行なえます。
- 停電補償機能をもち、停電があっても、プログラム内容、内蔵時計動作は約50日間保護されます。
- 祝祭日など特別な日に、通常プログラムを止める、休止曜日設定機能があります。
- 外部機器用制御回路を2回路もっています。
- 内蔵時計(月差±30秒)の誤差を親時計を接続して修正できます。

ご注意

ハイパワーアンプ(WA-910, 920, 930, 950, 915, 925, 935, 950兼用)の取扱説明書を必ずお読みください。

各部の名前(タイマー部のみ)

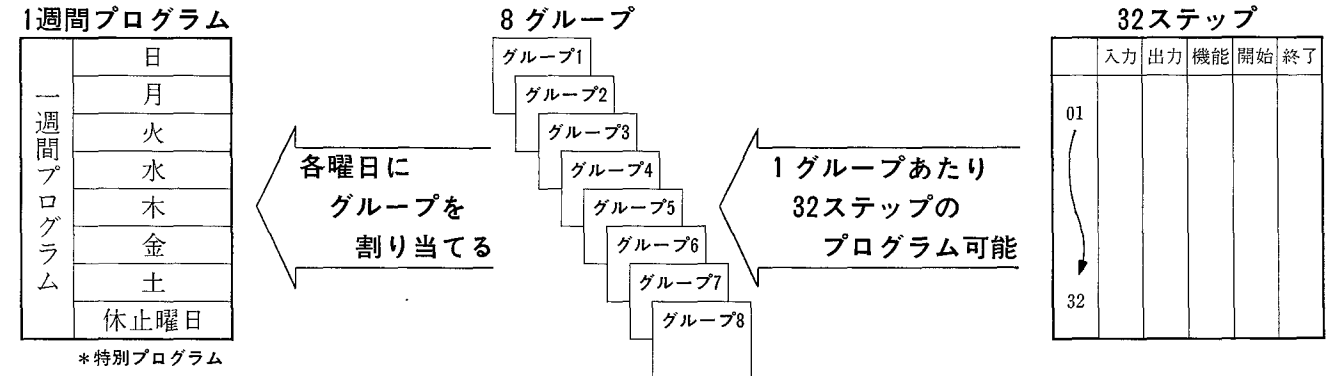


プログラムできるもの

■プログラムできるもの

プログラムできる項目	プログラムできるもの			備考
	入/切時刻	出力の選択	機能	
アンプ電源	入/切時刻	—	機能選択 ①を選択する	
チャイム	入時刻	スピーカ選択スイッチ「出力1~5、全出力」から放送するものを選択	曲目指定 ①ディップスイッチで設定した曲目 ②ウェストミンスターの鐘 ③蛍の光	「切」は動作後自動的に切れる
入力 1	入/切時刻	同上	—	
入力 2	入/切時刻	同上	—	
ライン 1	入/切時刻	同上	—	
ライン 2	入/切時刻	同上	—	
ラジオ	入/切時刻	同上	—	
外部制御出力 1	入/切時刻	入力 1、全出力が自動的に選ばれる。	機能選択 ①→外部制御出力 1 ②→外部制御出力 2	入/切時刻を同時刻にするとワンショット出力となる。
外部制御出力 2	入/切時刻	入力 2、全出力が自動的に選ばれる。	同上	同上

■プログラムの概要



●グループプログラム

グループNo.	時 間																							
	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
G 1	ON アンプ電源 OFF チャイム チャイム チャイム																							
G 2	グループNo. 1																							
G 3	動作機器	出力ブロック	開始時刻	終了時刻	機能	備考																		
G 4	アンプ	1・2・3・4・5・④	8:00	20:00	0																			
G 5	チャイム	1・2・3・4・5・④	8:00		1																			
G 6	チャイム	1・2・3・4・5・④	12:00		2																			
G 7	↓																							
G 8	BGM	1・2・3・4・5・④	8:00	19:00	0																			

プログラムできるもの

●曜日割当プログラム

	日	月	火	水	木	金	土
G 1		○	○		○	○	
G 2				○			
G 3	○						
G 4							○
G 5							
G 6							
G 7							
G 8							
休止曜日			●				

休止曜日設定 { *設定は、稼働の翌日～前日の間に行う。
*プログラムを壊さずに動作を停止する。
*設定日を過ぎると自動的に解除される。

■設定の基本手順

1. 時刻合わせ (7～8ページ参照)

内蔵時計の時刻と曜日を正しく合わせます。

2. プログラムの書き込み (9～24ページ参照)

プログラムを入力します。

グループ毎(1～8グループ)に32ステップの設定が可能です。

■アンプ電源入/切プログラムの書き込み(9～12ページ)

■チャイムプログラムの書き込み(13～16ページ)

■ライン1・2、入力1・2、ラジオ放送プログラムの書き込み(17～20ページ)

■外部制御出力プログラムの書き込み(21～24ページ)

3. プログラムの曜日割り当て (25～26ページ参照)

各プログラムグループを曜日毎に割り当てます。

4. プログラムの実行 (42ページ参照)

書き込んだプログラムを実行させるには、プログラムタイマーを“動作中”にします。

①モード選択スイッチ ➡ 「動作」(動作モード)

②動作・停止スイッチ ➡ 動作中表示が「点灯」

③電源スイッチ ➡ 「切」

「動作中」表示が点灯していることを確認してください。

プログラム書き込みの準備

自動放送を行うためには、予め、プログラムを書き込んでおかなければなりません。

すみやかなプログラムの入力のために、下に示すような、プログラム時間割当シート、プログラム曜日割当シート、プログラム入力用シートの三枚を作成します。

- ・プログラム時間割当シート：一日にどのプログラムを何時から何時まで動作させるかを記入します。
- ・プログラム曜日割当シート：一週間の何曜日にどのプログラムを動作させるかを記入します。
- ・プログラム入力用シート：実際にプログラムを書き込むときに用いるシートです。

■プログラム時間割当シートの作成

●プログラム実行項目の右欄に、実行したい開始時間と終了時間を記入し、あいだを線で結びます。(チャイムや外部制御出力のワンショットプログラムは開始時刻のみを記入します。)

用紙は巻末に付属のものをコピーしてお使いください。

●チャイムの欄には、鳴らすチャイムの曲目を①、②のように書き込んでおきましょう(機能番号)。

●出力欄には放送したい出力ブロック番号を書き込みます。

●1シートが1日分です。1週間に必要な枚数(違ったプログラムの種類だけ)を作成します。

(1週間のうち、毎日違ったプログラム放送をしたいときは、7枚必要となります。→最大8枚まで)左上欄にプログラムNo.(グループNo.)を記入してください。

グループNo. (1)		00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24					
アンプ電源	時刻									8:00	-----																20:30				
チャイム	時刻									9:00					12:00					17:15											
	出力									①					②					①											
入力1	時刻									10:00					12:00																
	出力														①②③																
入力2	時刻																														
	出力																														
ライン1	時刻																	15:00					19:00								
	出力																						③								
ライン2	時刻																														
	出力																														
ラジオ	時刻																	17:00					20:00								
	出力																						①③⑤								
外部制御出力1	時刻									13:00									17:00												
外部制御出力2	時刻																														

プログラム時間割当シートの例

プログラム書き込みの準備

■プログラム曜日割り当てシートの作成

- 何曜日にどのプログラムを動作させるかを記入します。
- プログラム番号(グループNo.)で記入してください。例えば、一週間のうち月、水、木曜日は同じプログラムを実行したいときは、月、水、木は同じ番号になります。

曜日	日	月	火	水	木	金	土
グループNo.		1	2	1	1	2	3

プログラム曜日割り当てシートの例

各曜日に実行したいプログラムのグループNo.を記入します。

■プログラム入力用シートの作成

- 先に作成したプログラム時間割り当てシートを入力しやすいように数字で記入し直します。
- プログラムステップ数は32ステップまでです。

グループNo.1							備考
ステップNo.	動作機器	出力ブロック	開始時刻		終了時刻		機能
			時	分	時	分	
1	アンパ電源	1・2・3・4・5・全	08	00	20	30	0
2	チャイム	1・2・3・4・5・全	09	00	—	—	1 ウェストミンスターの鐘
3	チャイム	①・②・③・4・5・全	12	00	—	—	2 蛍の光
4	チャイム	1・2・3・4・5・全	17	15	—	—	1 ウェストミンスターの鐘
5	入力1	①・②・③・4・5・全	10	00	12	00	—
6	ライン1	1・2・③・4・5・全	15	00	19	00	—
7	ラジオ	①・2・③・4・⑤・全	20	00	23	00	—
8	外部制御出力1	1・2・3・4・5・全	13	00	17	00	1 デジタル音声出力装置

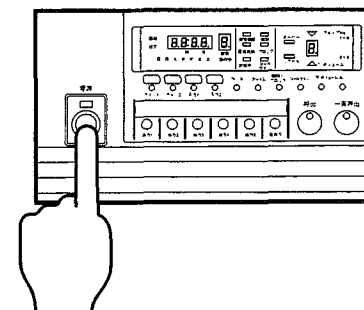
プログラム入力用シートの例

↓ステップ数

内蔵時計の時刻を合わせる

プログラムを書き込む前に、内蔵時計の曜日と時刻を現在の曜日と時刻に正しく合わせます。

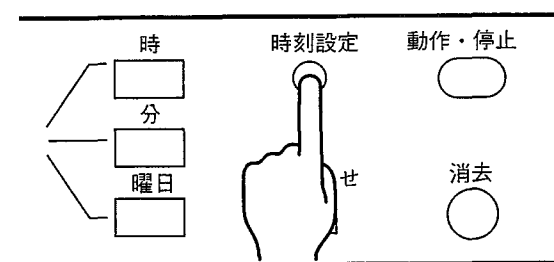
1 [電源]スイッチを押します。



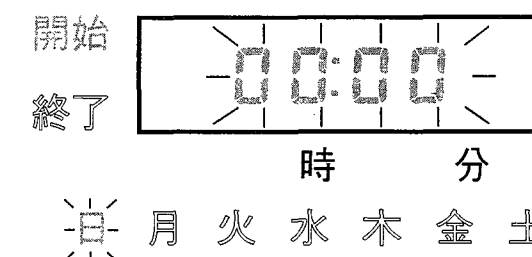
以後、表示灯の点灯、点滅状態を次のように表わします。

- 消灯 ○
- 点灯 ● または
- 点滅 または

2 [時刻設定]スイッチを押します。



- 時刻表示が点滅します。
- 曜日表示が点滅します。
(現在時刻および曜日が点滅します)



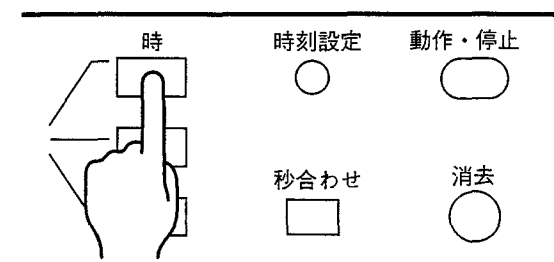
(日曜日00時00分の例)

ご注意

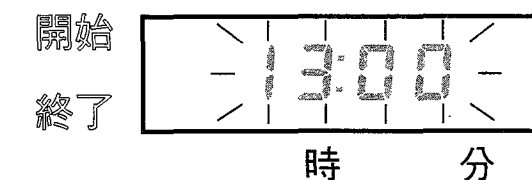
- プログラム放送中に時刻設定モードに入ると、動作中表示が消灯し、プログラム放送が停止します。時刻設定を終了すると、動作中表示が点灯し、その時刻以降から始まるプログラムがあれば、プログラム放送が開始します。

(例) 13:25 木曜日 に合わせる場合

3 [時]スイッチを押して、「時」表示を「13」に合わせます。

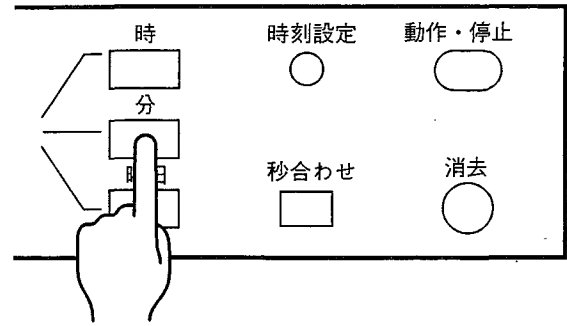


- [時]スイッチを押すごとに「時」表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。……22, 23, 00, 01のように変わります。

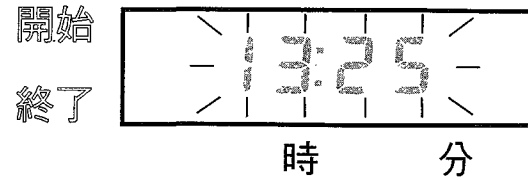


内蔵時計の時刻を合わせる

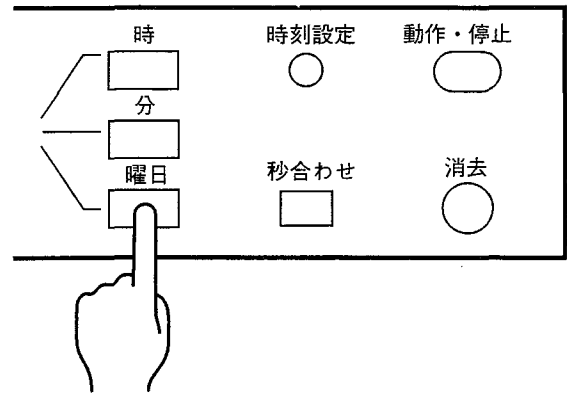
4 [分]スイッチを押して、「分」表示を「25」に合わせます。



●[分]スイッチを押すごとに「分」表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。……58, 59, 00, 01……のように変わります。



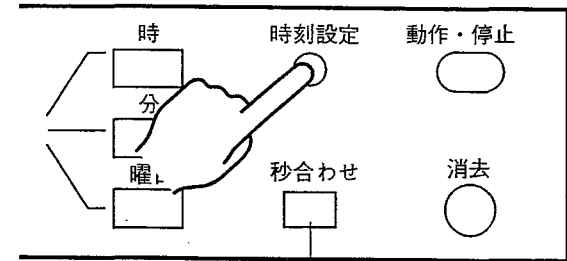
5 [曜日]スイッチを押して、「曜日」表示を「木」に合わせます。



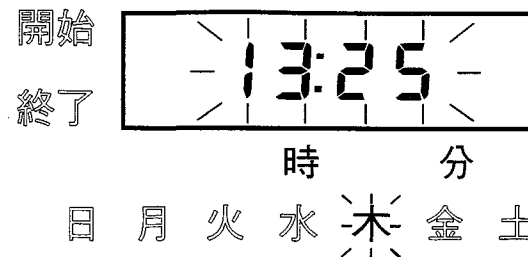
●[曜日]スイッチを押すごとに表示が1ずつ右に移動します。土曜日の次は日曜日に戻ります。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。



6 [時刻設定]スイッチを押します。



●時刻表示、曜日表示が点灯に変わります。



※秒合わせスイッチ

●[時刻設定]スイッチを押すのと同時に13時25分00秒から時計がスタートしますので、時報に合わせて[時刻設定]スイッチを押してください。

※秒合わせスイッチ

秒合わせスイッチを押すと、29秒以内は繰り下げ、30秒以上は繰り上げになります。
 <例> 13時25分29秒→押す→13時25分00秒
 13時25分30秒→押す→13時26分00秒

プログラムの書き込みかた

作成したプログラム入力用シートにもとづき、プログラムを書き込んでいきます。
 『プログラムのはじめにその1日の開始と終了の電源入/切プログラムを入れてください。』

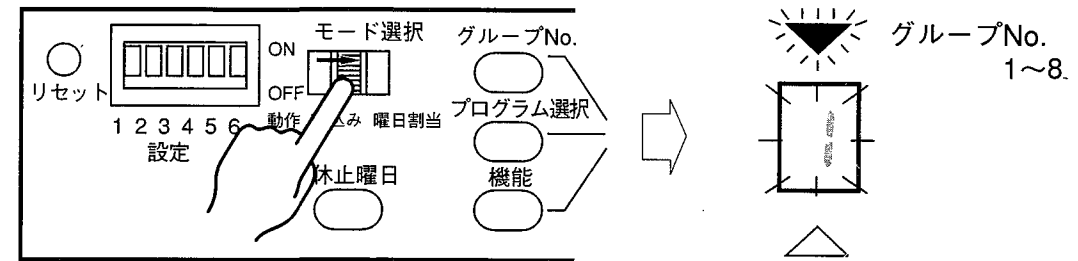
■アンプ電源入/切プログラムの書き込み

●前ページの入力シート例で、8:00に電源オンし、20:30にオフするプログラム入力を説明します。

グループNo.1						備考
動作機器	出力ブロック	開始時刻		終了時刻		機能
		時	分	時	分	
アンプ電源	1・2・3・4・5・全	08	00	20	30	0

1 モード選択スイッチを「書込み」にします。(書込みモードになる。)

●グループNo表示が「1」で点滅。

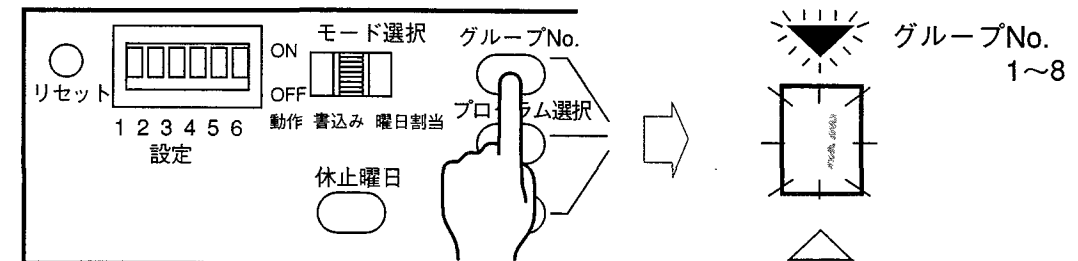


ご注意

●プログラム放送中に、モード選択スイッチを「書込み」または「曜日割当」に移動すると、動作中表示が消灯し、プログラム放送が停止します。モード選択スイッチを「動作」に戻すと、動作中表示は点灯しますが、プログラム放送は再開しません。開始表示も消灯したままです。

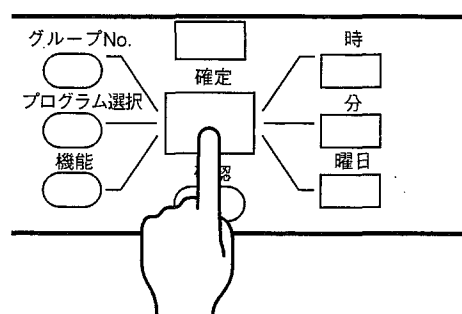
2 [グループNo.]スイッチを押して、書き込むグループNo.を表示させます。

●[グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。
 「1」→「2」「3」・・・「8」→「1」
 のように変わります。

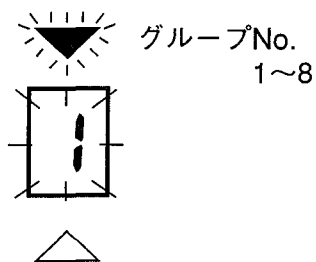


プログラムの書き込みかた

3 該当するグループNo.が表示されたら、**[確定]**スイッチを押してください。



●グループNo.表示が点灯に変わります。



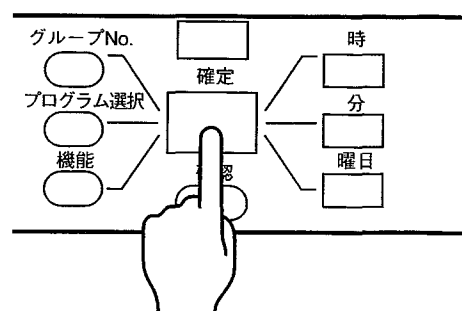
●全入力ソース表示灯が点滅します。
《プログラムがいっぱいでないとき》



ご注意

●書き込めるプログラムは1グループ最大32ステップです。32ステップいっぱいを書き込んだときは、入力開始時に、先頭プログラムの内容を表示します。

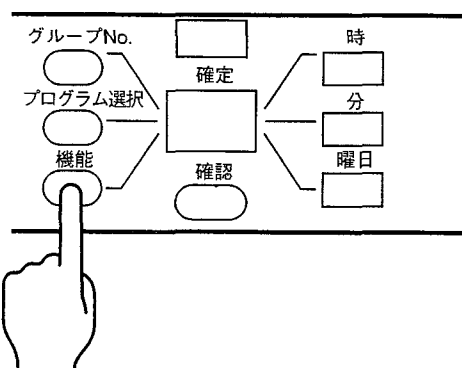
4 **[確定]**スイッチを押してください。



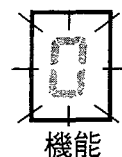
●入力ソース表示灯が消灯に変わります。
●機能表示が点滅します。



5 **[機能]**スイッチを押して機能0を選択します。

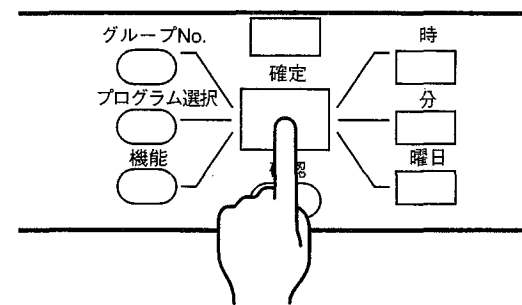


●**[機能]**スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。「0」→「1」→「2」→「0」→のように変わります。

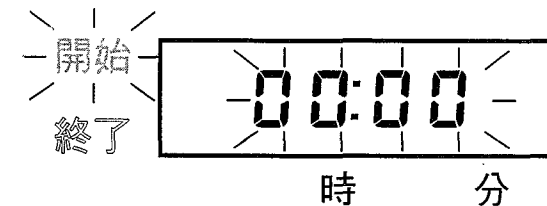


プログラムの書き込みかた

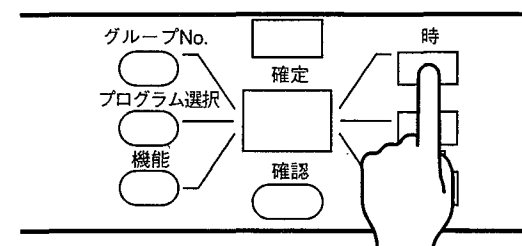
6 **[確定]**スイッチを押してください。



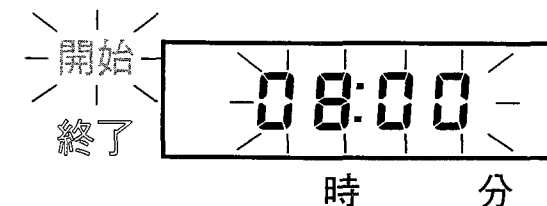
●開始表示が点滅、時刻表示が点灯します。開始時刻は00:00を表示します。
ただし、連続してプログラムを書き込んでいるときは前回書き込んだプログラムの開始時刻を表示します。



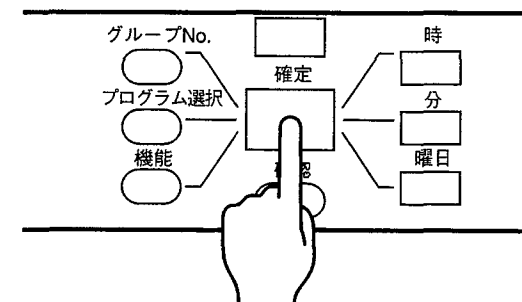
7 **[時]****[分]**スイッチを押して、開始時間を設定してください。



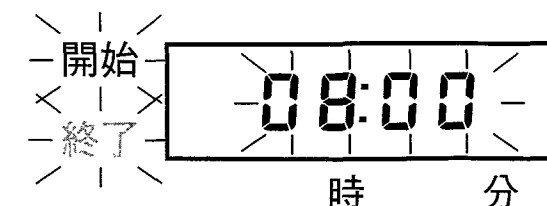
●スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。…22, 23, 00, 01…、…58, 59, 00, 01…のように変わります。



8 **[確定]**スイッチを押してください。

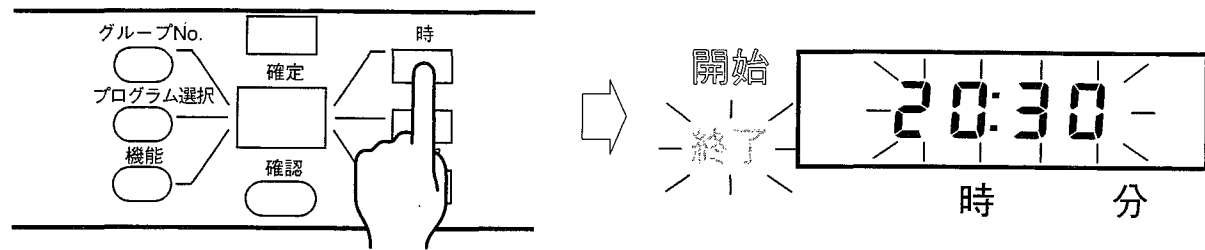


●開始表示が点灯に変わります。
●終了表示が点滅します。

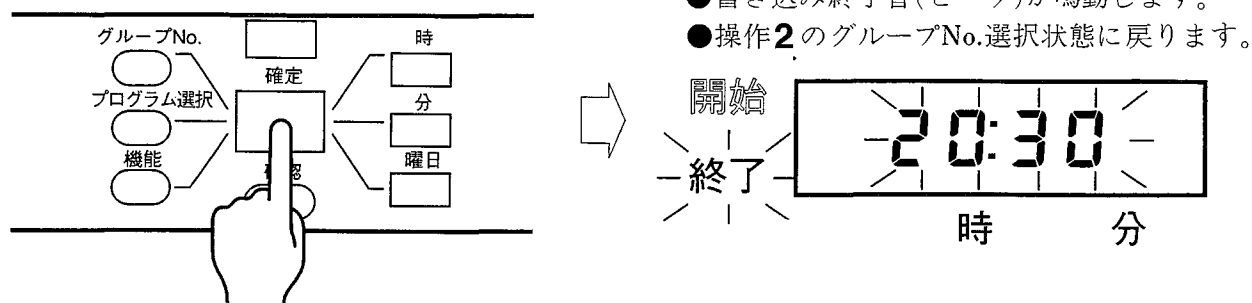


プログラムの書き込みかた

9 [時][分]スイッチを押して、終了時刻を設定してください。



10 [確定]スイッチを押してください。



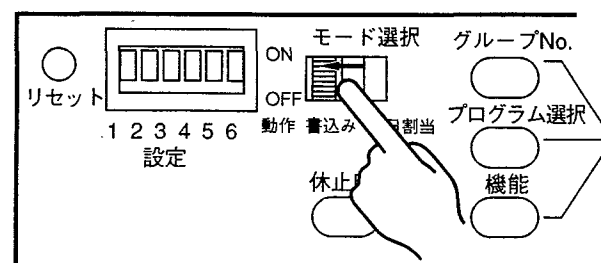
11 続けて、同じグループNo.にプログラムを書き込む時は、そのまま[確定]を押し、操作4～10を繰り返してください。

別グループに書き込むときは、[グループNo.]スイッチを押して、グループNo.を変えてから、[確定]を押してください。
プログラム書き込みを終了したい場合は操作12に進んでください。

ご注意

- 不当な時刻(開始時刻 \geq 終了時刻)を書き込もうとすると、警告音(ピッピッピ)がなり、操作2の状態に戻ります。
- 電源プログラムを重なった時刻に書き込もうとすると、警告音(ピッピッピ)がなり、操作2の状態に戻ります。
- 操作4～9の操作中に、間違いに気がついた場合、[消去]スイッチを一秒間押すと、操作2の状態に戻り、入力し直すことができます。

12 モード選択スイッチを「動作」にします。(書き込みモード終了)



13 プログラムを実行するときは、「プログラムを曜日に割り当てる」まで行った後、「プログラムの実行」(42ページ)を行ってください。

プログラムの書き込みかた

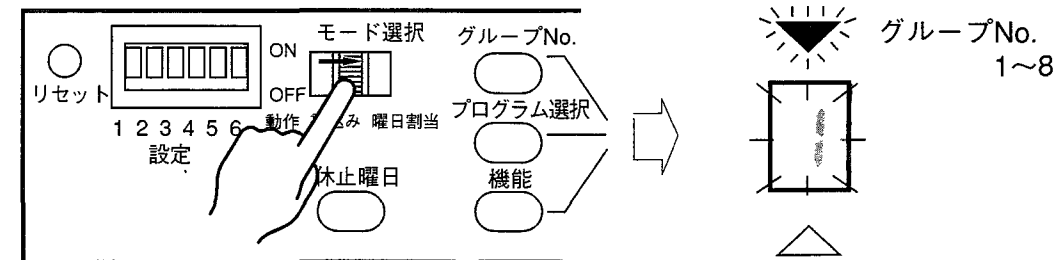
■チャイムプログラムの書き込み

●(例) 9:00にチャイムを放送するプログラム。

チャイム	1・2・3・4・5・金	09	00			1	ウェストミンスターの鐘
------	-------------	----	----	--	--	---	-------------

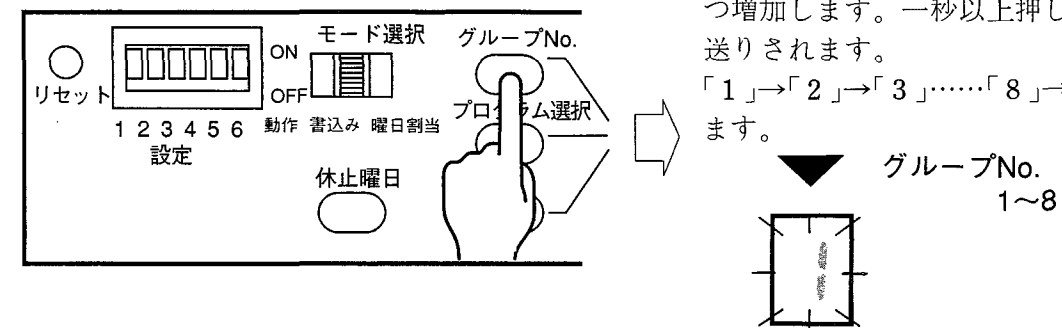
1 モード選択スイッチを「書き込み」にします。

●グループNo.表示が「1」で点滅します。



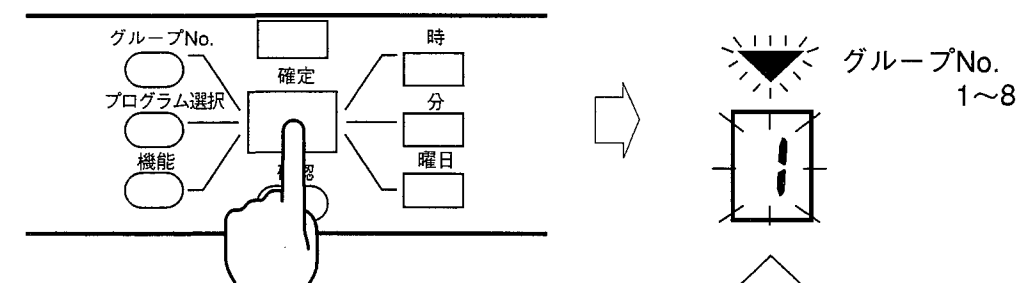
2 [グループNo.]を押して、書き込むグループNo.を表示させてください。

●[グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。「1」→「2」→「3」……「8」→「1」のように変わります。



3 該当するグループNo.が表示されたら、[確定]スイッチを押してください。

●グループNo.表示が点灯に変わります。



ご注意

- 書き込めるプログラムは1グループ最大32ステップです。32ステップいっぱいを書き込んだときは、入力開始時に、先頭プログラムの内容を表示します。

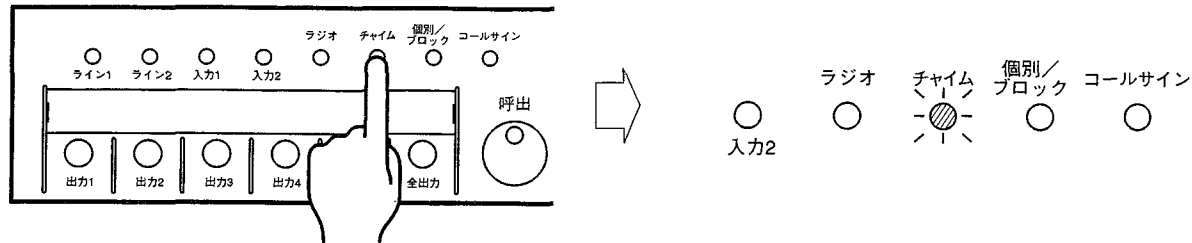
●全入力ソース表示灯が点滅します。《プログラムがいっぱいでないとき》



プログラムの書き込みかた

4 [チャイム]スイッチを押してください。

●[チャイム]スイッチの表示灯が点滅します。

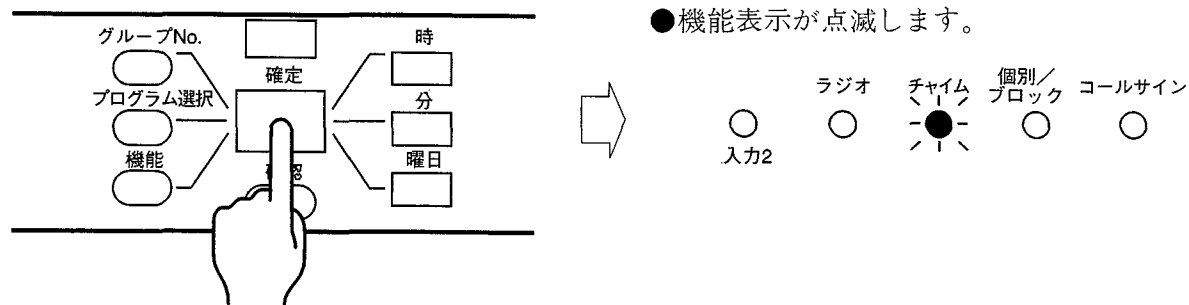


ご注意

●スイッチを押し間違えたときは、正しいスイッチを押し直してください。正しいスイッチの表示灯が点滅します。何も押していない状態に戻したいときは、一度押しってしまったスイッチを、もう一度押し直してください。

5 [確定]スイッチを押してください。

●[チャイム]表示灯が点灯に変わります。
●機能表示が点滅します。

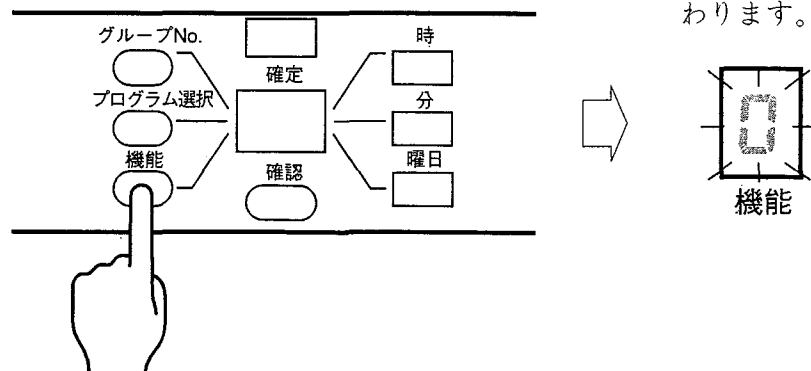


6 [機能]スイッチを押してください。

設定できる機能は0～2でそれぞれ以下のような意味があります。

- 0：（ディップスイッチで設定されているチャイム曲目を選択）
- 1：メロディ1選択（ウエストミンスターの鐘）
- 2：メロディ2選択（蛍の光）

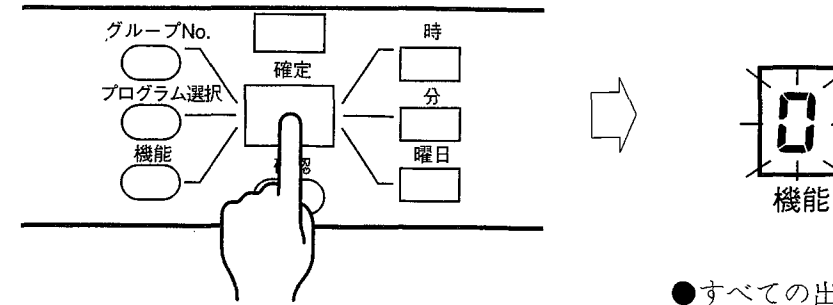
●[機能]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。「0」→「1」→「2」→「0」→のように、変わります。



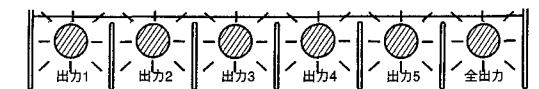
プログラムの書き込みかた

7 [確定]スイッチを押してください。

●機能表示が点灯に変わります。

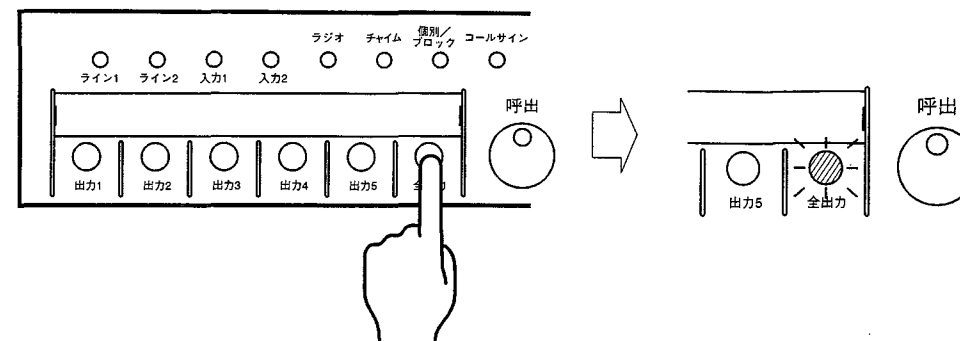


●すべての出力表示灯が点滅します。



8 [出力1～5]スイッチまたは[全出力]スイッチを押してください。

●押したスイッチの表示灯が点滅します。

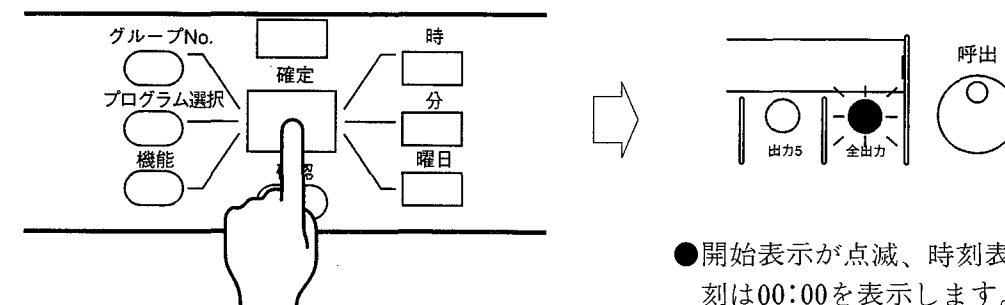


ご注意

●複数の出力ブロックを選択できますが[全出力]と同時に選択はできません。

9 [確定]スイッチを押してください。

●出力表示灯が点灯に変わります。

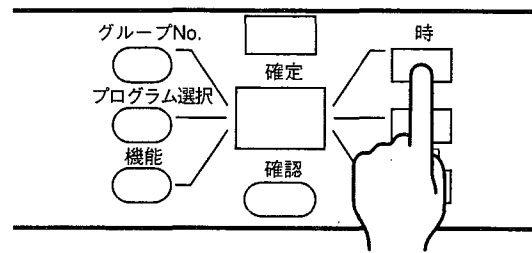


●開始表示が点滅、時刻表示が点灯します。開始時刻は00:00を表示します。ただし、連続してプログラムを書き込んでいるときは前回書き込んだプログラムの開始時刻を表示します。



プログラムの書き込みかた

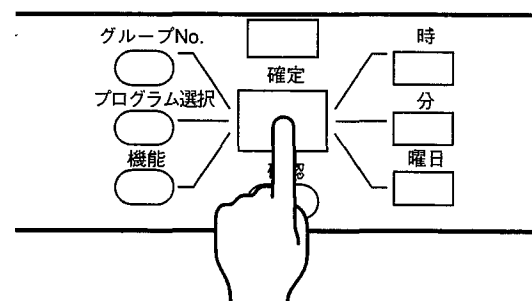
10 [時][分]スイッチを押して、開始時刻を設定してください。



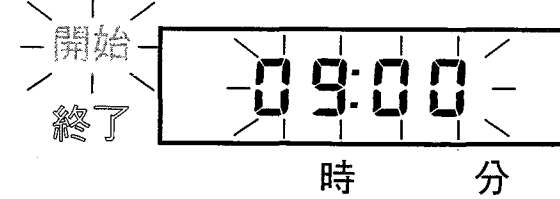
●[時][分]スイッチを押すごとに、それぞれの表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。
 …22, 23, 00……, 58, 59, 00……のように変わります。



11 [確定]スイッチを押してください。



●開始表示が1秒間点灯に変わります。
 ●書き込み音(ピーッ)が鳴動します。
 ●操作2のグループNo.選択状態に戻ります。



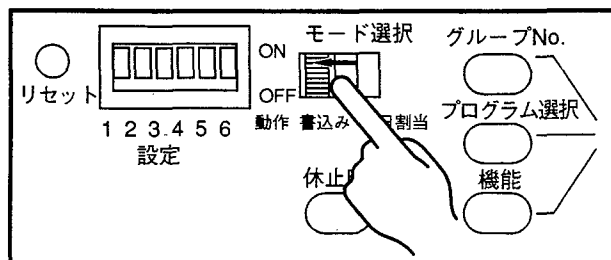
12 続けて、同じグループNo.にプログラムを書き込む時は、そのまま[確定]を押し、操作4～11を繰り返してください。

別グループに書き込むときは、[グループNo.]スイッチを押して、グループNo.を変えてから、[確定]を押してください。
 プログラム書き込みを終了したい場合は操作13に進んでください。

ご注意

●操作4～10の操作中に、間違いに気がついた場合、[消去]スイッチを一秒間押し、操作2の状態に戻り、入力し直すことができます。

13 モード選択スイッチを[書込み]から[動作]にします。(書込みモード終了)



14 プログラムを実行するときは、「プログラムを曜日に割り当てる」まで行った後、「プログラムの実行」(42ページ)を行ってください。

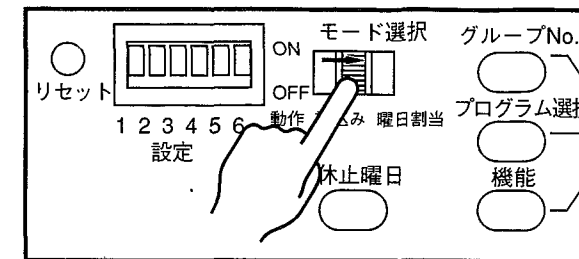
プログラムの書き込みかた

■ライン1, 2, 入力1, 2, ラジオ放送プログラムの書き込み

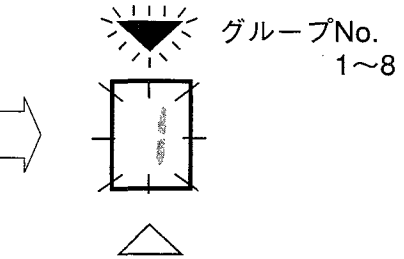
●(例) 入力1ソースを出力ブロック1, 2, 3で10:00から12:00まで放送するプログラム

入力1	①・②・③・4・5・全	10	00	12	00		
-----	-------------	----	----	----	----	--	--

1 モード選択スイッチを「書込み」にします。

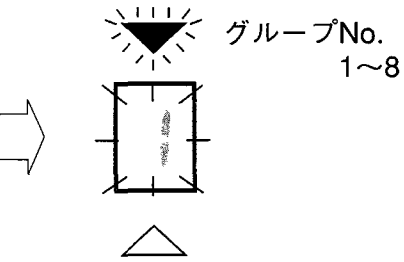
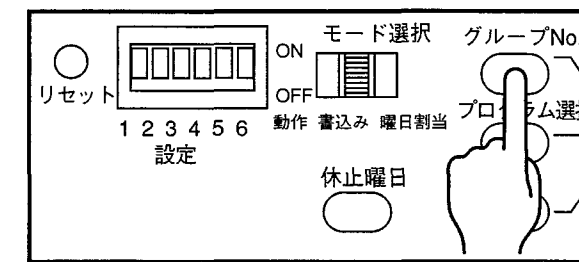


●グループNo.が「1」で点滅します。

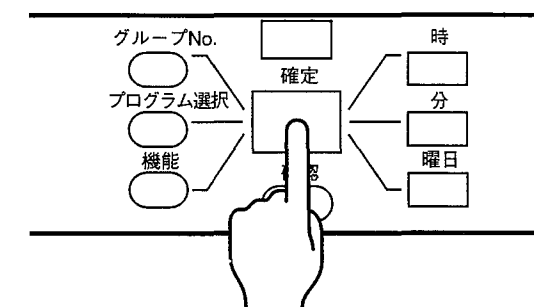


2 [グループNo.]スイッチを押して、書き込むグループNo.を表示させてください。

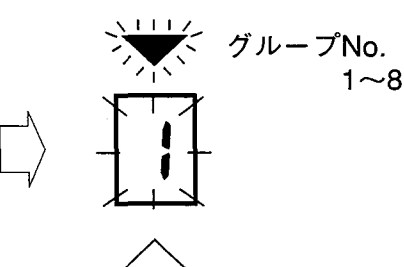
●[グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。
 「1」→「2」→「3」……「8」→「1」のように変わります。



3 [確定]スイッチを押してください。



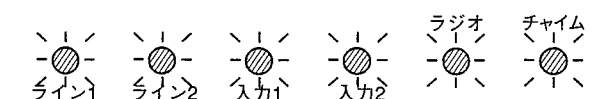
●グループNo.表示が点灯に変わります。



ご注意

●書き込めるプログラムは1グループ最大32ステップです。32ステップいっぱい書き込んだときは、入力開始時に、先頭プログラムの内容を表示します。

●全入力ソース表示灯が点滅します。
 《プログラムがいっぱいでないとき》

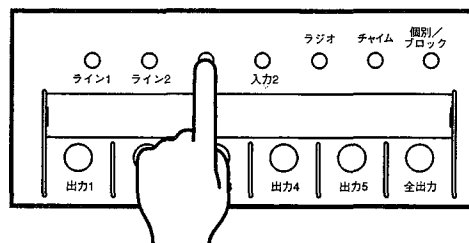


プログラムの書き込みかた

4 設定する入力ソーススイッチを押してください。

設定できる入力ソースは以下の5種類で、それぞれ右に示すスイッチを押してください。

- 入力1 → [入力1]スイッチ
- 入力2 → [入力2]スイッチ
- ライン1 → [ライン1]スイッチ
- ライン2 → [ライン2]スイッチ
- ラジオ → [ラジオ]スイッチ



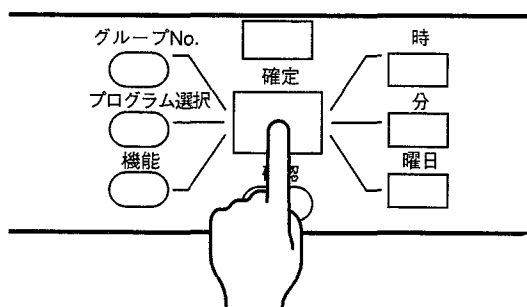
● 押したスイッチの表示灯が点滅します。



ご注意

- スイッチを押し間違えたときは、正しいスイッチを押し直してください。正しいスイッチの表示灯が点滅します。何も押していない状態に戻したいときは、一度押ししてしまったスイッチを、もう一度押してください。

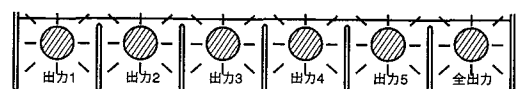
5 [確定]スイッチを押してください。



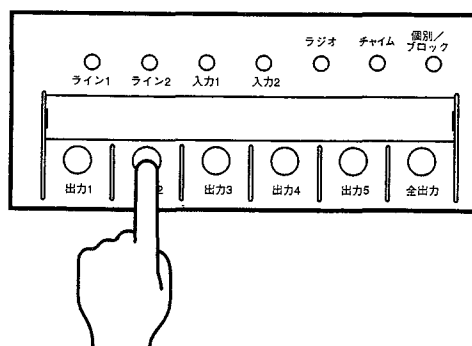
● 押したスイッチの表示灯が点灯にかわります。



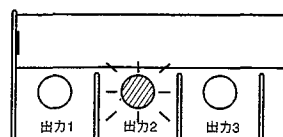
● すべての出力表示灯が点滅します。



6 [出力1~5]スイッチまたは[全出力]スイッチを押してください。



● 押したスイッチの表示灯が点滅します。

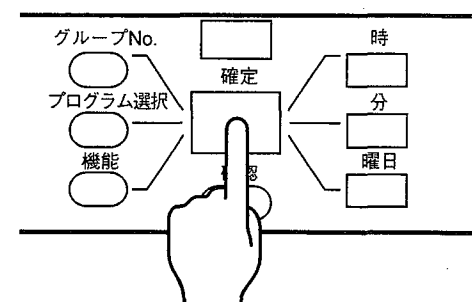


ご注意

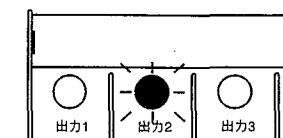
- 複数の出力ブロックを選択できますが、[全出力]と同時に選択はできません。

プログラムの書き込みかた

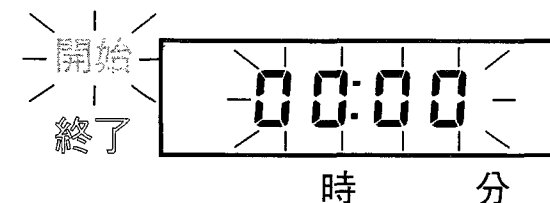
7 [確定]スイッチを押してください。



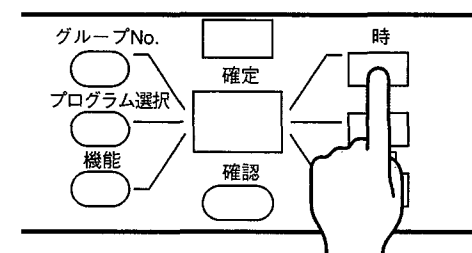
● 押したスイッチの表示灯が点灯に変わります。



● 開始表示が点滅、時刻表示が点灯します。開始時刻は00:00を表示します。ただし、連続してプログラムを書き込んでいるときは前回書き込んだプログラムの開始時刻を表示します。

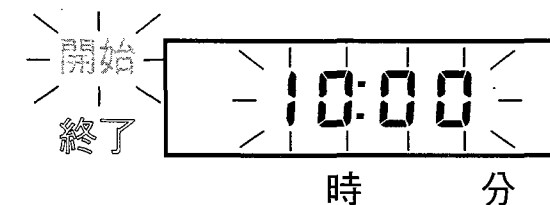


8 [時][分]スイッチを押して、開始時刻を設定してください。

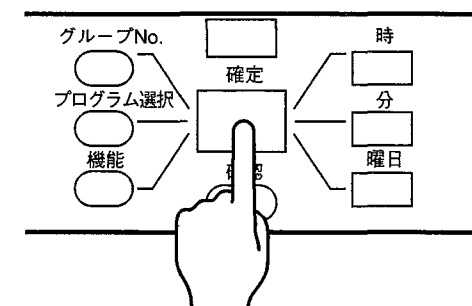


● [時][分]スイッチを押すごとに、それぞれの表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。

……22, 23, 00……, ……58, 59, 00……のように変わります。

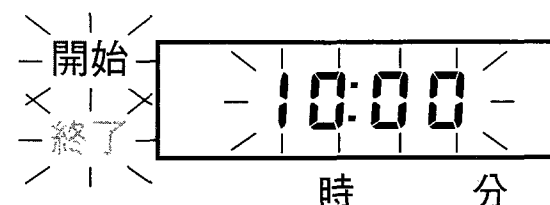


9 [確定]スイッチを押してください。



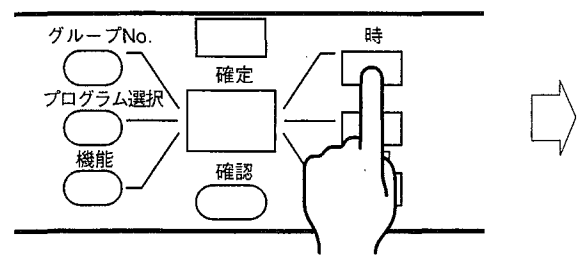
● 開始表示が点灯に変わります。

● 終了表示が点滅します。



プログラムの書き込みかた

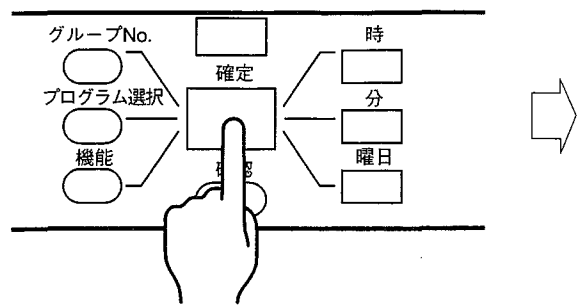
10 [時][分]スイッチを押して、終了時刻を設定してください。



●[時][分]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。
……22, 23, 00……, ……58, 59, 00……のように変わります。



11 [確定]スイッチを押してください。(書き込み終了)



●終了表示が1秒間点灯に変わります。
●書き込み終了音(ピーッ)が鳴動します。
●操作2のグループNo.選択状態に戻ります。



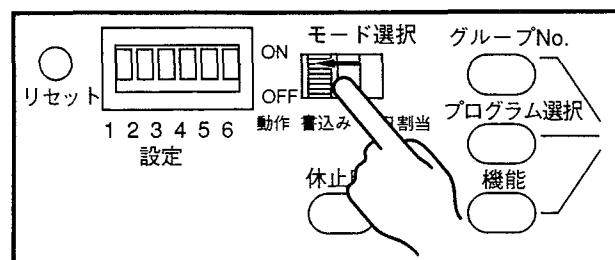
12 続けて、同じグループNo.にプログラムを書き込む時は、そのまま[確定]を押し、操作4~11を繰り返してください。

別グループに書き込むときは、[グループNo.]スイッチを押して、グループNo.を変えてから、[確定]を押してください。
プログラム書き込みを終了したい場合は操作13に進んでください。

ご注意

- 不当な時刻(開始時刻 \geq 終了時刻)を書き込もうとすると、警告音(ピッピッピッ)がなり、操作2の状態に戻ります。
- 電源プログラムを重なった時刻に書き込もうとすると、警告音(ピッピッピッ)がなり、操作2の状態に戻ります。
- 操作4~10の操作中に、間違いに気がついた場合、[消去]スイッチを一秒間押し、操作2の状態に戻り、入力し直すことができます。

13 モード選択スイッチを[書き込み]から[動作]にします。(書き込みモード終了)



14 プログラムを実行するときは、「プログラムを曜日に割り当てる」まで行った後、「プログラムの実行」(42ページ)を行ってください。

プログラムの書き込みかた

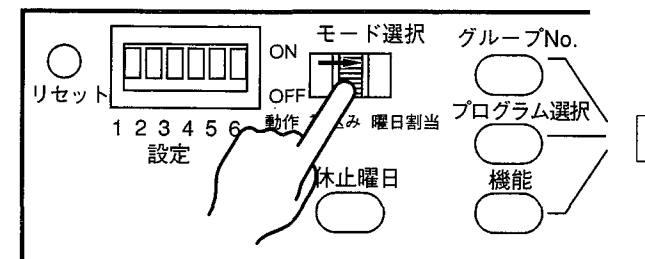
外部制御出力プログラムの書き込み

外部機器を制御するプログラムです。ワンショットと連続出力の2種類があります。

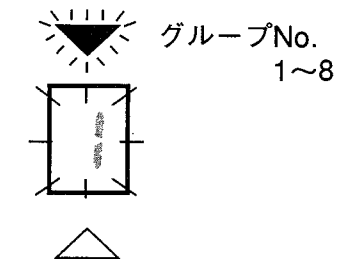
●(例) 外部制御出力1を13:00から17:00までオンするプログラム

外部制御出力1	1・2・3・4・5・全	13	00	17	00	1	デジタル音声出力装置
---------	-------------	----	----	----	----	---	------------

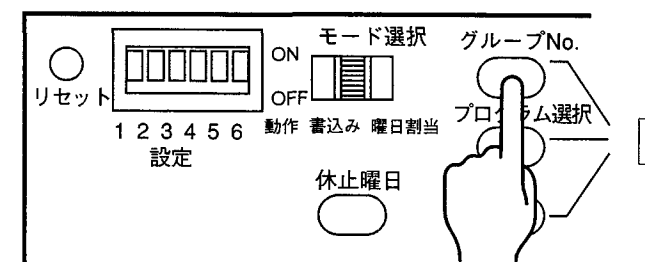
1 モード選択スイッチを「書き込み」にします。



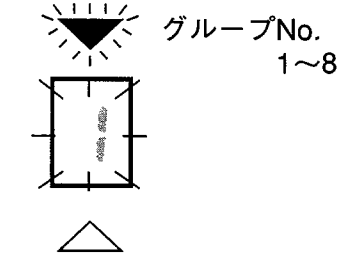
●グループNo.表示が「1」で点滅します。



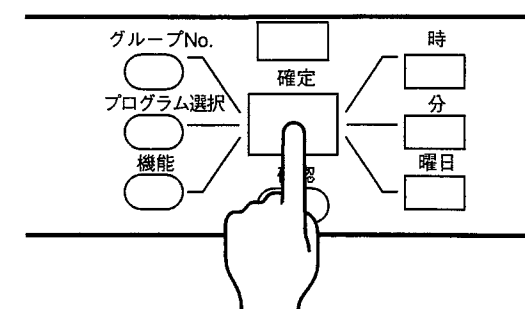
2 [グループNo.]スイッチを押して、書き込むグループNo.を表示させてください。



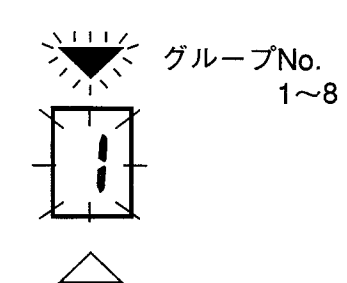
●[グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると表示が早送りされます。
「1」→「2」→「3」……「8」→「1」のように変わります。



3 [確定]スイッチを押してください。



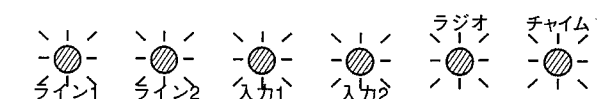
●グループNo.表示が点灯に変わります。



ご注意

●書き込めるプログラムは1グループ最大32ステップです。32ステップいっぱい書き込んだときは、入力開始時に、先頭プログラムの内容を表示します。

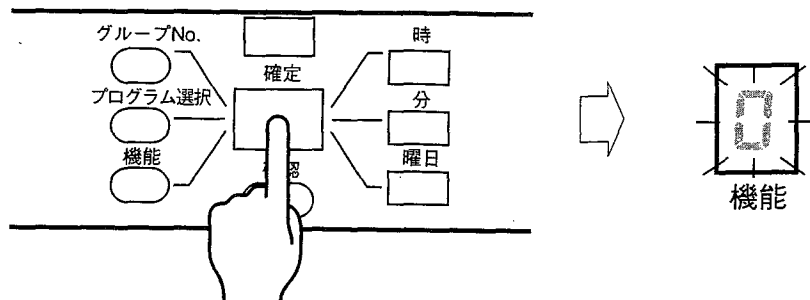
●全入力ソース表示灯が点滅します。
《プログラムがいっぱいでないとき》



プログラムの書き込みかた

4 [確定]スイッチを押してください。

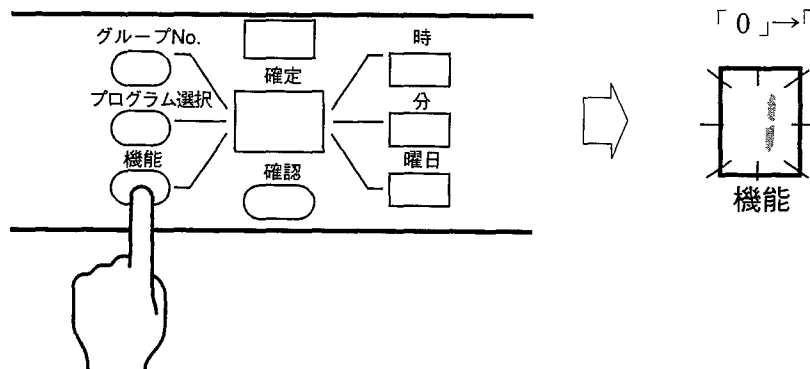
- 入力ソース表示灯が消灯に変わります。
- 機能表示が点滅します。



5 [機能]スイッチを押してください。

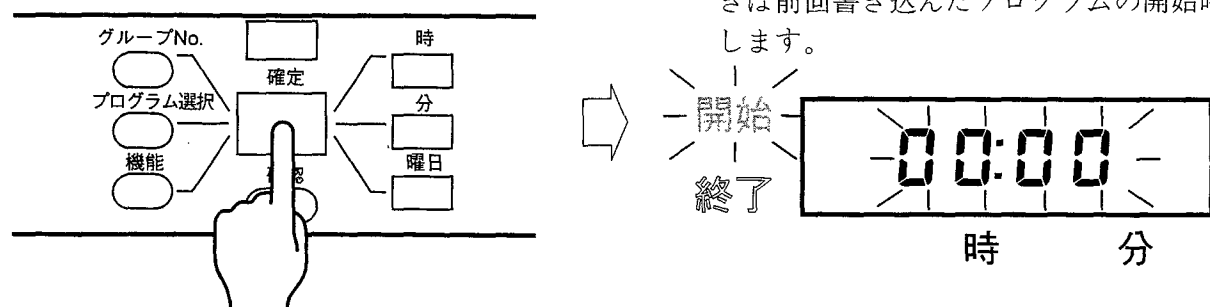
機能1または2を選択すると、それぞれ、外部制御出力1、2になります。

- [機能]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。
「0」→「1」→「2」→「0」→のように、変わります。



6 機能の値が「1」または「2」で点滅している状態で、[確定]スイッチを押してください。

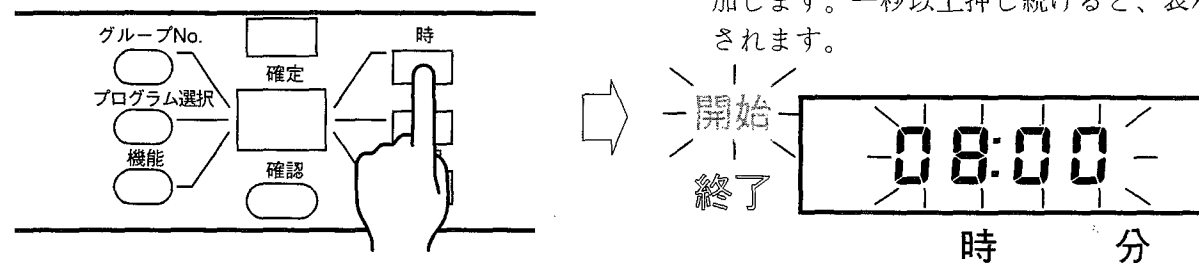
- 機能表示が点灯に変わります。
- 開始表示が点滅、時刻表示が点灯します。開始時刻は00:00を表示します。
ただし、連続してプログラムを書き込んでいるときは前回書き込んだプログラムの開始時刻を表示します。



プログラムの書き込みかた

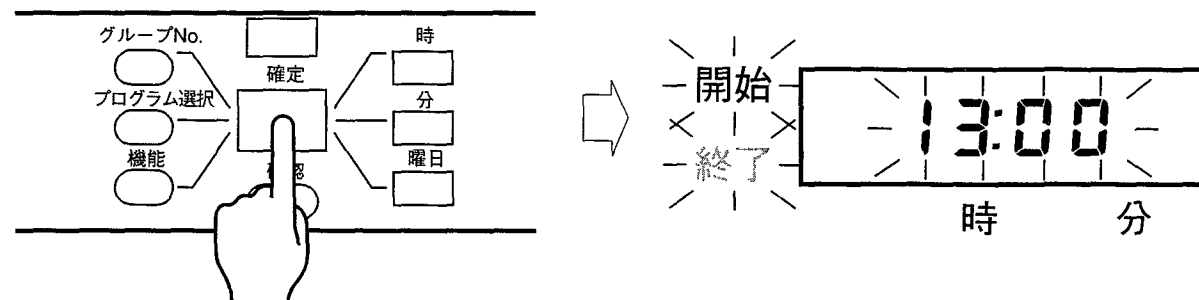
7 [時][分]スイッチを押して、開始時刻を設定してください。

- [時][分]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。



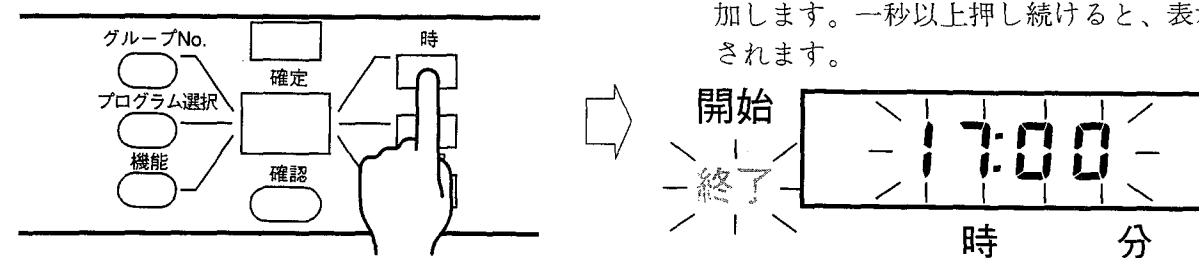
8 [確定]スイッチを押してください。

- 開始表示が点灯に変わります。
- 終了表示が点滅します。



9 [時][分]スイッチを押して、終了時刻を設定してください。

- [時][分]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。

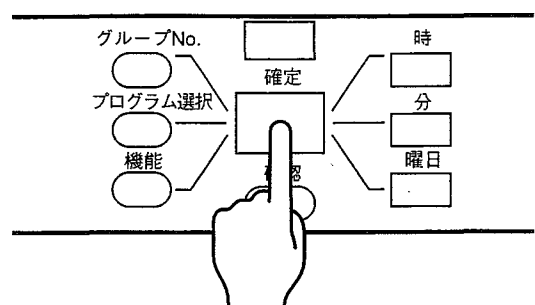


ご注意

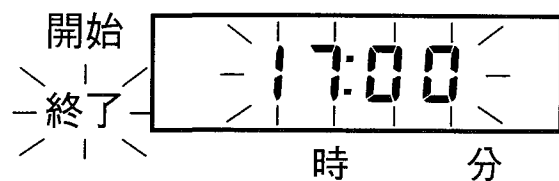
- ワンショットの書き込みをするときは、開始時刻と終了時刻を、同じ時刻にしてください。

プログラムの書き込みかた

10 [確定]スイッチを押してください。



- 終了表示が1秒間点灯に変わります。
- 書き込み終了音（ピーッ）が鳴動します。
- 操作2のグループNo.選択状態に戻ります。



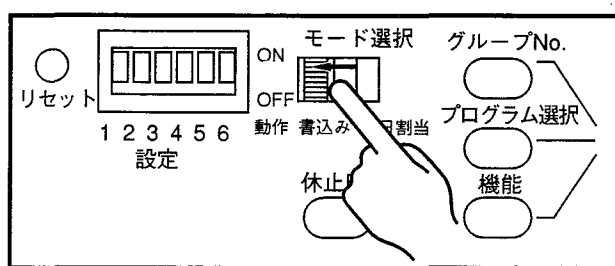
11 続けて、同じグループNo.にプログラムを書き込む時は、そのまま[確定]を押し、操作5～10を繰り返してください。

別グループに書き込むときは、[グループNo.]スイッチを押して、グループNo.を変えてから、[確定]を押してください。
プログラム書き込みを終了したい場合は操作12に進んでください。

ご注意

- 不当な時刻（開始時刻 \geq 終了時刻）を書き込もうとすると、警告音（ピッピッピッ）がなり、操作2の状態に戻ります。
- 電源プログラムを重なった時刻に書き込もうとすると、警告音（ピッピッピッ）がなり、操作2の状態に戻ります。
- 操作5～9の作業中に、間違いに気がついた場合、[消去]スイッチを一秒間押すと、操作2の状態に戻り、入力し直すことができます。

12 モード選択スイッチを[書込み]から[動作]にします。(書込みモード終了)



13 プログラムを実行するときは、「プログラムを曜日に割り当てる」まで行った後、「プログラムの実行」(42ページ)を行ってください。

プログラムを曜日に割り当てる

■プログラムを曜日に割り当てる

まえもって作成した、プログラム曜日割り当てシートにもとずき、プログラムを曜日に割り当てます。

曜日	日	月	火	水	木	金	土
グループNo.		1	2	1	1	2	3

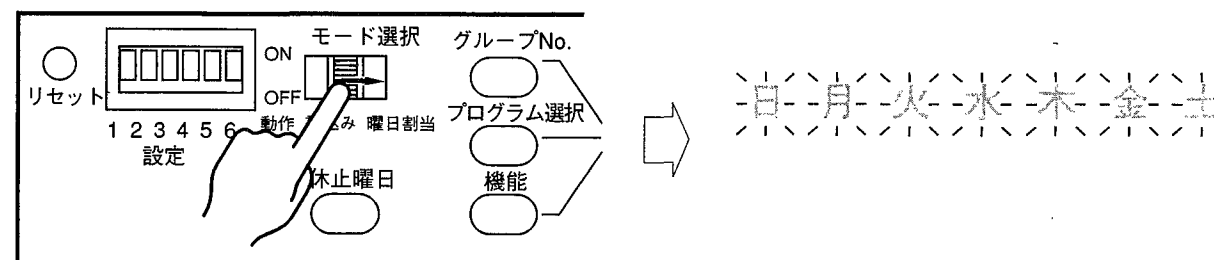
プログラム曜日割り当てシートの例

●(例) 月曜日にプログラムグループ1を割り当てる。

1 モード選択スイッチを「曜日割り当て」にします。

(曜日割り当てモード)

●全曜日表示点滅(ただし、割り当て済みの曜日のある場合には、その曜日は点灯します)

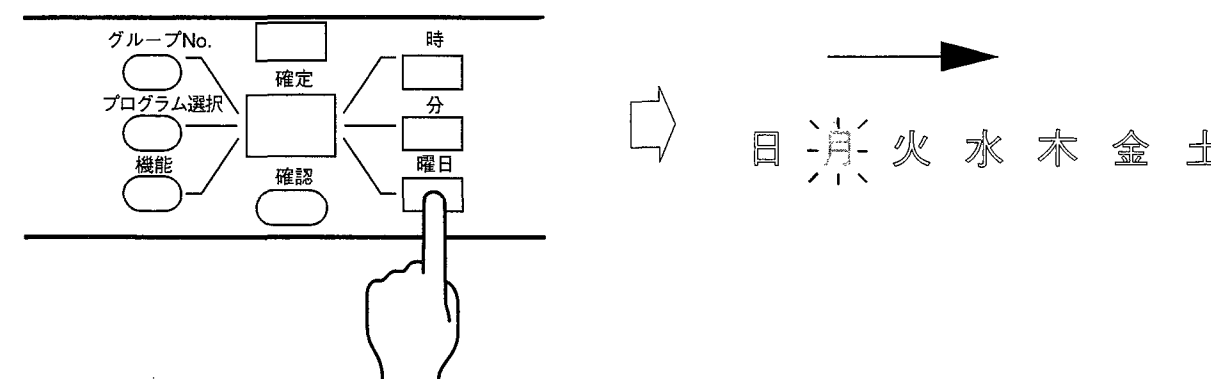


ご注意

- プログラム放送中に、モード選択スイッチを[書込み]または[曜日割り当て]に移動すると、動作中表示が消灯し、プログラム放送が停止します。モード選択スイッチを[動作]に戻すと、動作中表示は点灯しますが、プログラム放送は再開しませんし、開始表示も消灯したままです。

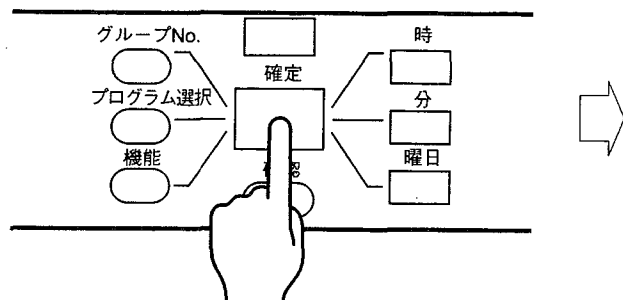
2 [曜日]スイッチを押して、プログラムグループを割り当てる曜日を点滅させてください。

●[曜日]スイッチを押すごとに表示が1ずつ右に移動します。土曜日の次は日曜日に戻ります。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。



プログラムを曜日に割り当てる

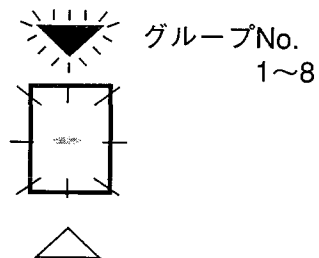
3 [確定]スイッチを押してください。



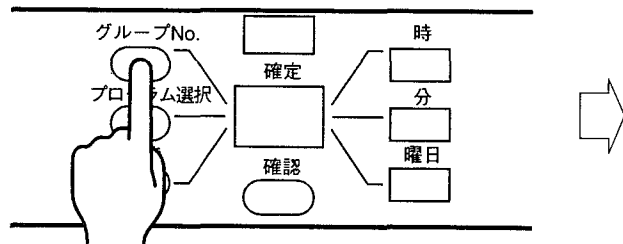
●曜日表示が点灯に変わります。

日 月 火 水 木 金 土

●グループNo表示が「-」を点滅します。



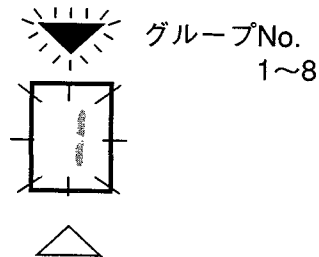
4 [グループNo.]スイッチを押して、設定したいグループNo.を表示させてください。



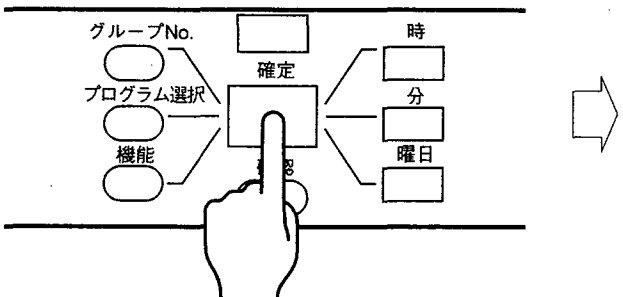
●[グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。

「1」→「2」→「3」・・・「8」→「1」

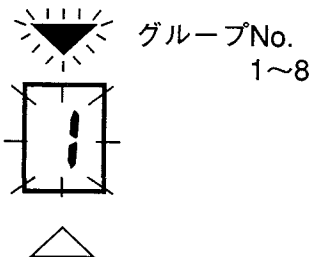
のように変わります。



5 割り当てるグループNo.を点滅表示させたら[確定]スイッチを押してください。



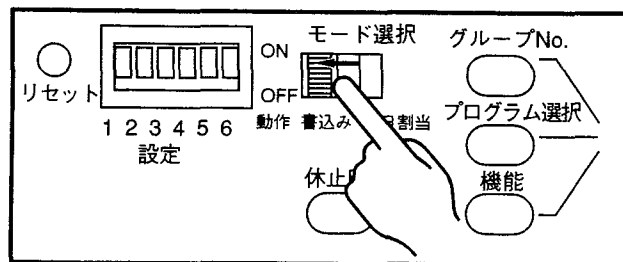
●表示が一秒間だけ点灯に変わります。



●割当終了音（ピーッ）が鳴動します。

6 続けてプログラム割当を行う場合には2~4を繰り返してください。

7 モード選択スイッチを[曜日割当]から[動作]にします。(曜日割当モード終了)



8 プログラムを実行するときは、「プログラムを曜日に割り当てる」まで行った後、「プログラムの実行」(42ページ)を行ってください。

プログラムを曜日に割り当てる

■日をまたぐプログラムの書き込み

午前0時をまたいでプログラム放送を行なう場合には、午前0時を境に2つのプログラムグループにわけてプログラムを登録します。さらに、2つのプログラムグループをとなりあったそれぞれの曜日に割り当てます。

すると、午前0時の日変わり時、放送が途切れることなくプログラム放送することができます。

●(例) ライン1を火曜日の22:00から翌日の5:00まで放送する場合

1 次のように、2つのプログラムグループにわけてプログラムを書き込みます。

グループNo. 1						
動作機器	出力ブロック	開始時刻		終了時刻		機能
ライン1	1・2・3・4・5・全	22	00	24	00	-

グループNo. 2						
動作機器	出力ブロック	開始時刻		終了時刻		機能
ライン1	1・2・3・4・5・全	00	00	05	00	-

2 2つのプログラムグループをそれぞれの曜日に割り当てます。

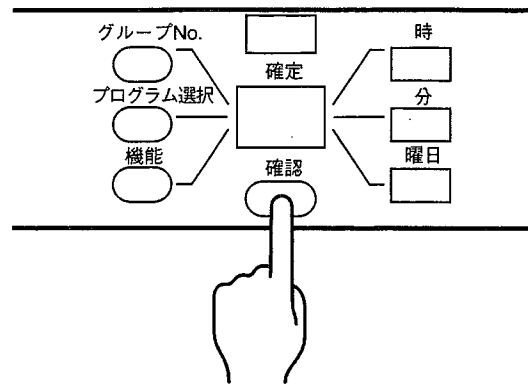
曜日	日	月	火	水	木	金	土
グループNo.			1	2			

プログラムの確認のしかた

■ 割当曜日の確認

各プログラムグループを何曜日に割り当てたかを確認します。

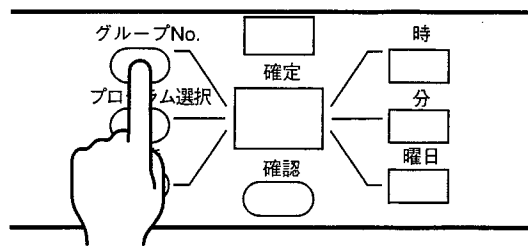
1 [確認]スイッチを押します。 (確認モード)



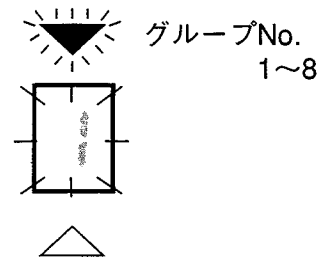
- 割当済みの曜日表示は点灯し、プログラムが割り当てられていない曜日表示は点滅します。



2 [グループNo.]スイッチを押し、確認したいグループNo.を表示させます。



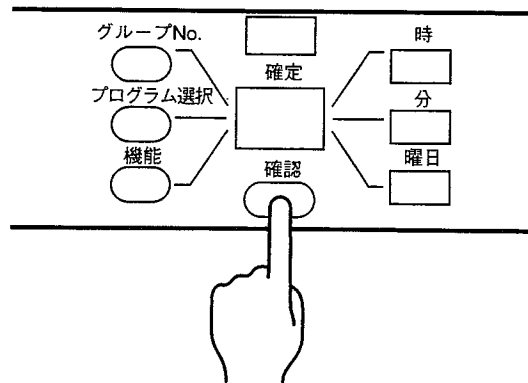
- [グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。
「1」→「2」→「3」・・・「8」→「1」
のように変わります。



- 表示しているグループNo.を割り当てた曜日表示が点灯します。(プログラム割当曜日確認)



3 [確認]スイッチを押します。 (確認モードを終了)

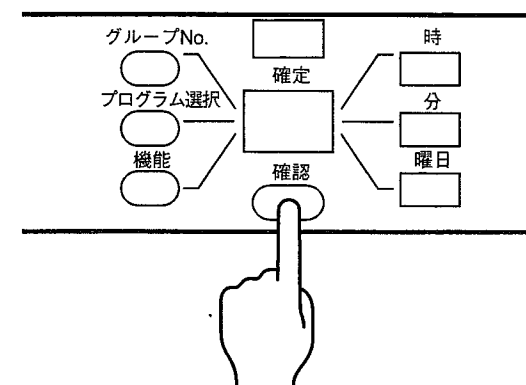


プログラムの確認のしかた

■ 曜日割当プログラムグループの確認

各曜日に割り当てられたプログラムグループを確認します。

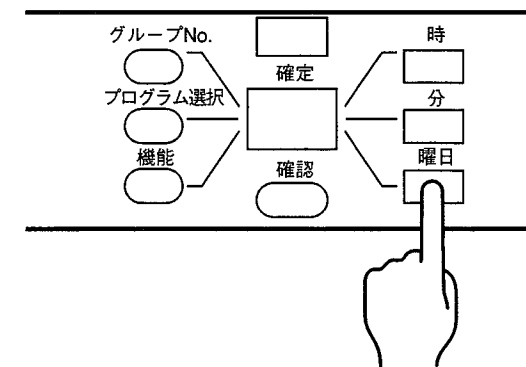
1 [確認]スイッチを押します。 (確認モード)



- 割当済みの曜日表示は点灯し、プログラムが割り当てられない曜日表示は点滅します。



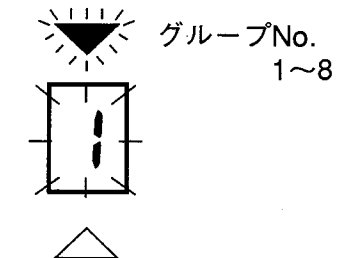
2 [曜日]スイッチを押し、確認したい曜日表示を点滅させます。



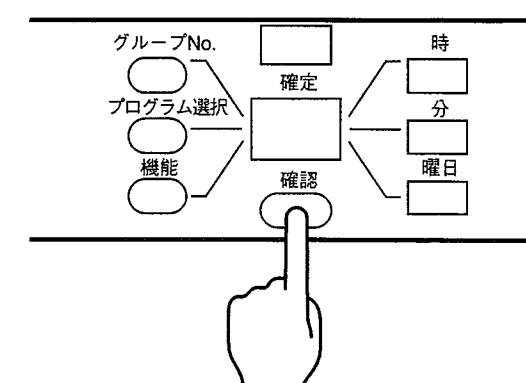
- [曜日]スイッチを押すごとに表示が1ずつ右に移動します。土曜日の次は日曜日に戻ります。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。



- 表示している曜日に割り当てたグループNo.がグループNo.表示に点灯します。(曜日割当プログラム確認)



3 [確認]スイッチを押します。

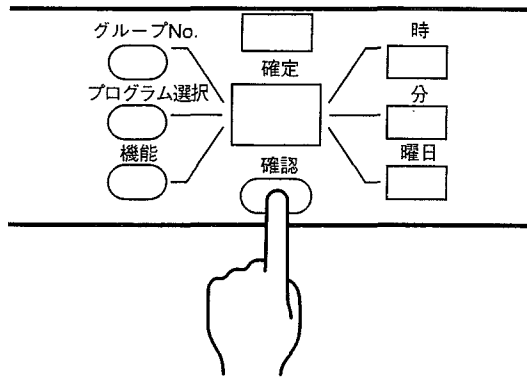


プログラムの確認のしかた

■プログラム内容の確認

書き込んだプログラムの内容を確認します。

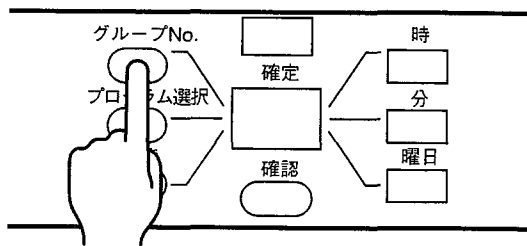
1 [確認]スイッチを押します。 (確認モード)



●割当済みの曜日表示は点灯し、プログラムが割り当てられてない曜日表示は点滅します。

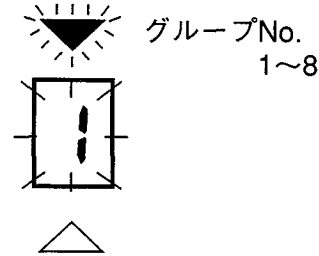
日 月 火 水 木 金 土

2 [グループNo.]スイッチを押し、確認したいグループNo.を表示させます。



●[グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。

「1」→「2」→「3」・・・「8」→「1」のように変わります。



●表示しているグループNo.を割り当てた曜日表示が点灯します。(プログラム割当曜日確認)

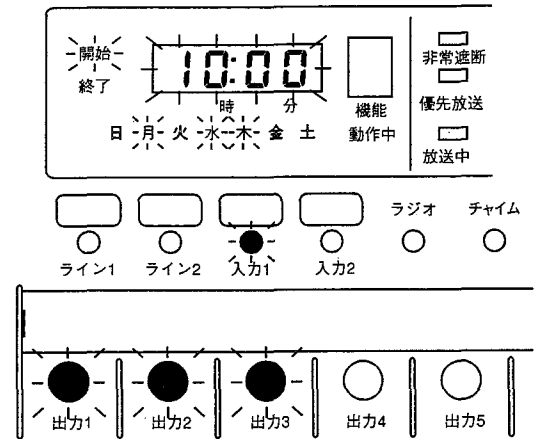
日 月 火 水 木 金 土

プログラムの確認のしかた

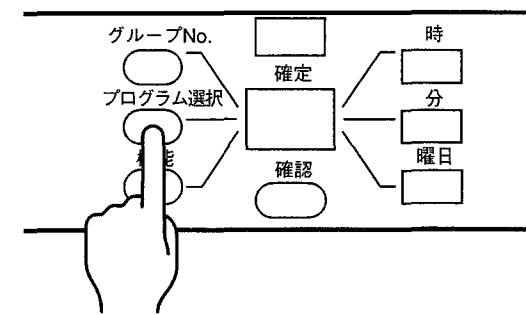
●(例) 入力1・出力1、2、3 10:00~12:00のプログラム確認

入力1	①・②・③・4・5・全	10	00	12	00
-----	-------------	----	----	----	----

●表示されているグループNo.に書き込まれている先頭のプログラムが表示されます。入力ソース、出力ブロック、機能が、各々入力ソース表示灯、出力ブロック表示灯、機能表示に表示され開始時刻と終了時刻は、交互に時刻表示に表示されます。(先頭プログラム内容確認)

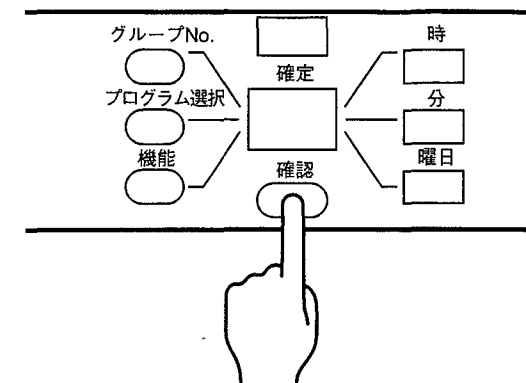


3 [プログラム選択]スイッチを押します。



●[プログラム選択]スイッチを押すごとに表示が次のプログラムの内容を表示します。最後まで行くと先頭プログラムに戻ります。

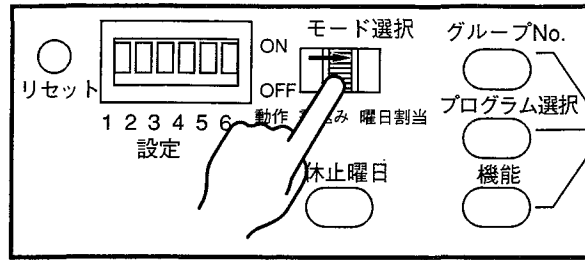
4 [確認]スイッチを押します。 (確認モードを終了)



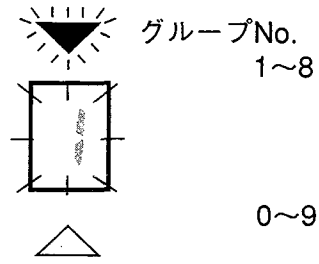
書き込み済みプログラム内容の修正

すでに書き込んでいるプログラムの内容を修正します。

1 モード選択スイッチを「書込み」にします。 (書込みモード)

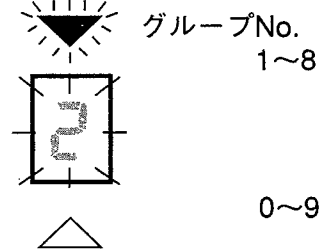
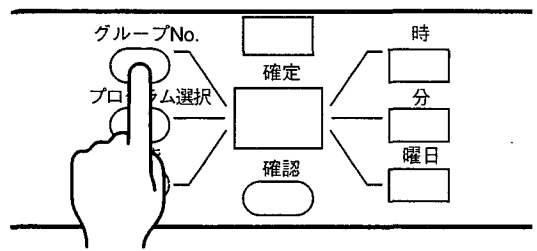


●グループNo.表示が「1」で点滅します。



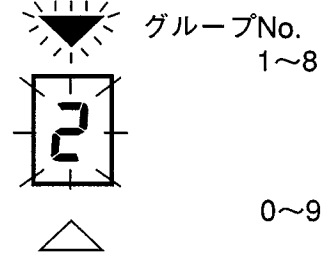
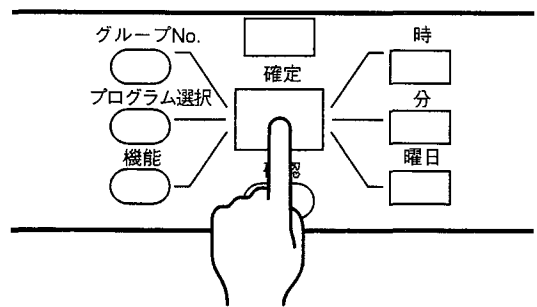
2 [グループNo.]スイッチを押して、修正するプログラムを含むグループNo.を表示させてください。

●[グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。「1」→「2」→「3」・・・「8」→「1」のように変わります。

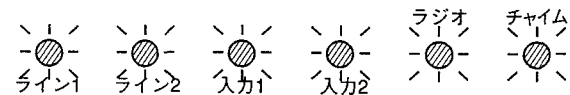


3 該当するグループNo.が表示されたら、[確定]スイッチを押してください。

●グループNo.表示が点灯に変わります。



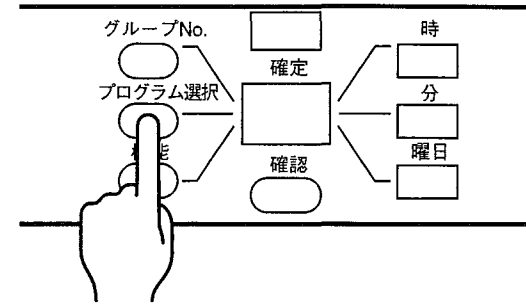
●全入力ソース表示灯が点滅します。



書き込み済みプログラム内容の修正

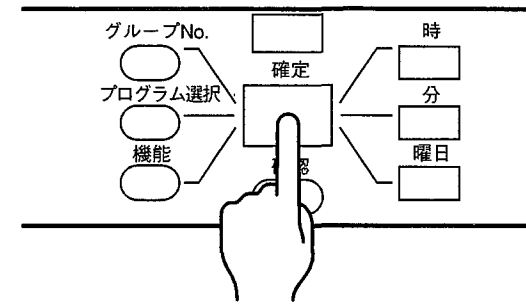
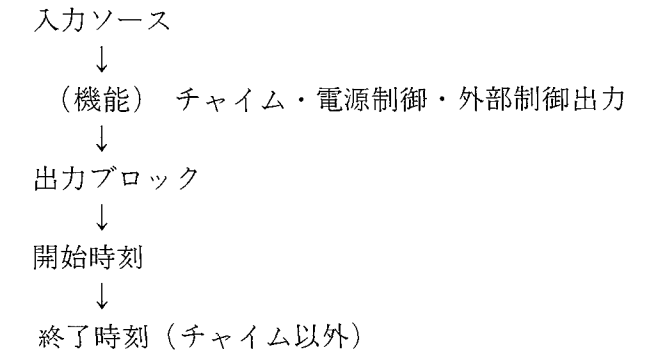
4 [プログラム選択]スイッチを押して、修正するプログラムを表示させてください。

●スイッチを押すごとに表示が次のプログラムの内容を表示します。最後まで行くと、入力状態に戻り、さらに押すと、先頭プログラムに戻ります。



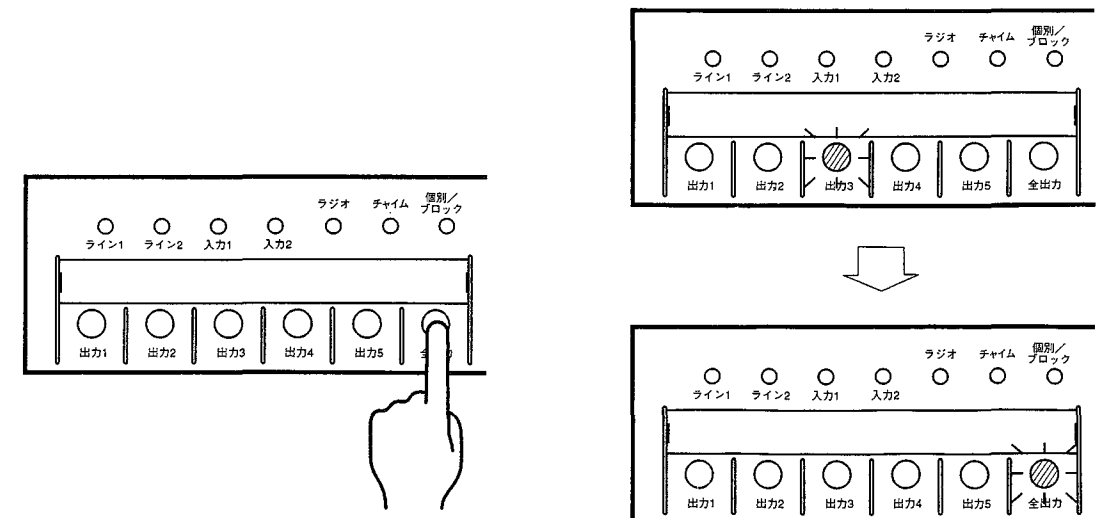
5 変更したい内容の表示が点滅するまで、[確定]スイッチを押し続けてください。

《順番は以下の通り》



6 修正したい内容の表示が点滅したら、新しい内容に変更して、[確定]スイッチを押してください。

●(例) 出力ブロック1、2、3を出力ブロック全出力に変える場合。

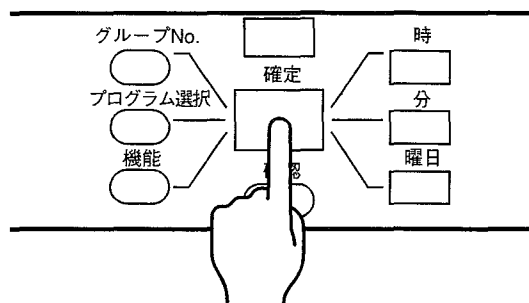


書き込み済みプログラム内容の修正

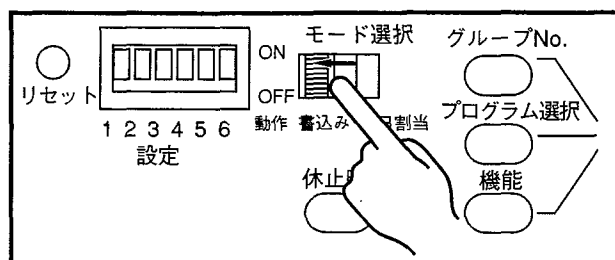
7 [確定]スイッチを書き込み完了音が鳴動するまで押し続けます。
(プログラム修正終了)

ご注意

- 終了時刻以外は、書き込んだ内容が記憶されているので、[確定]を押すと、前の内容を保持したまま次の項目に移りますが、終了時刻だけは、開始時刻と同時刻が表示されますので、元の時刻を書き込み直してください。



8 モード選択スイッチを[書込み]から[動作]に移動します。
(書込みモード終了)



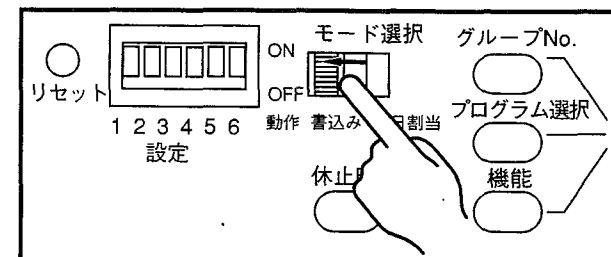
9 プログラムを実行するときは、「プログラムを曜日に割り当てる」まで行った後、「プログラムの実行」(42ページ)を行ってください。

休止曜日の設定のしかた

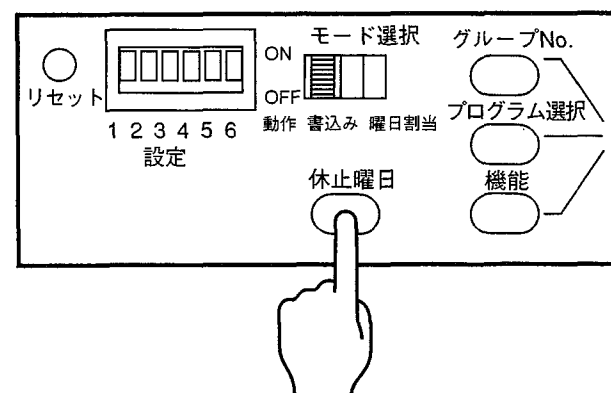
■ 休止曜日の設定

休日や祝日など、翌日からの一週間の特定の曜日に限りプログラム放送を休止したいときに、休止曜日を設定することができます。

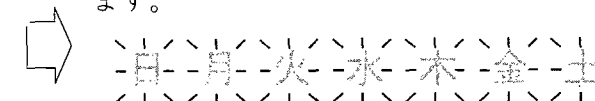
1 モード選択スイッチを「動作」にします。
(動作モード)
(「動作」になっているときは、そのまま。)



2 [休止曜日]スイッチを押してください。

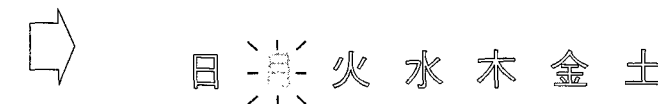
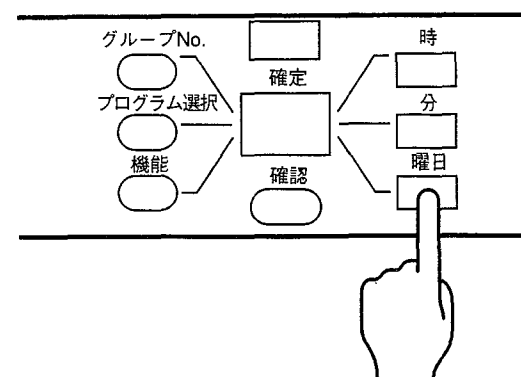


- 全曜日表示が点滅します。ただし、すでに休止曜日が設定されている場合には、その曜日は点灯します。



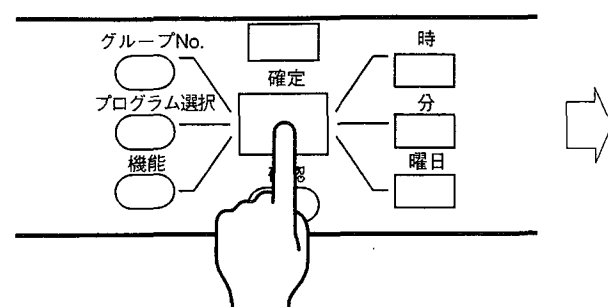
3 [曜日]スイッチを押して、休止曜日に設定する曜日を点滅させてください。

- [曜日]スイッチを押すごとに点滅表示が1ずつ右に移動します。土曜日の次は日曜日に戻ります。押し続けると、速く移動します。このとき、すでに休止曜日に設定されている曜日は、点灯したままです。



休止曜日の設定のしかた

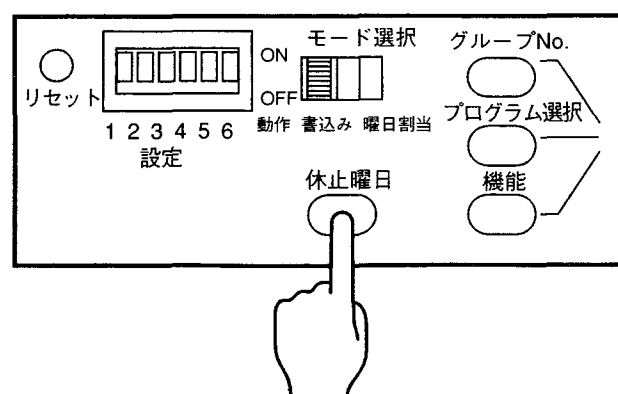
4 [確定]スイッチを押してください。



●設定完了音（ピーッ）が鳴動し、操作2の状態に戻ります。

5 続けて休止曜日を設定する場合は操作3～4を繰り返してください。

6 [休止曜日]スイッチを押してください。（休止曜日設定モードを終了）

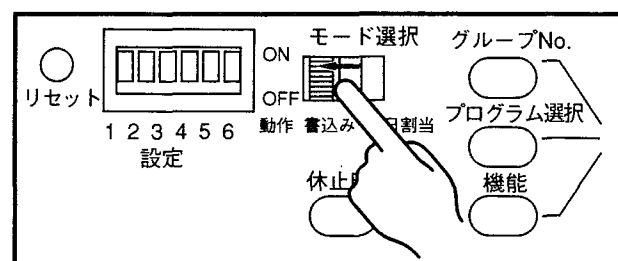


7 プログラムを実行するときは、「プログラムを曜日に割り当てる」まで行った後、「プログラムの実行(42ページ)を行ってください。

■ 休止曜日設定の解除

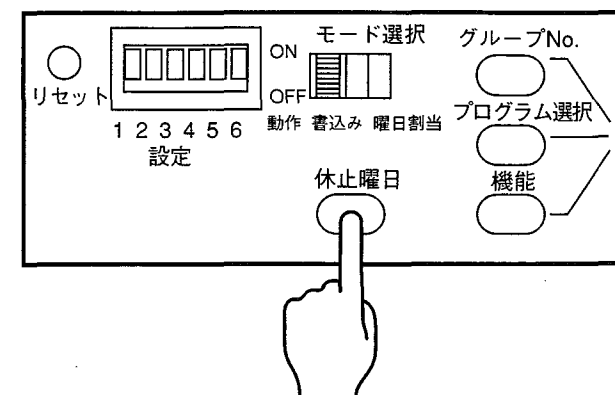
設定した休止曜日を解除します。ただし、翌日から一週間分のすべての休止曜日の解除のみで、特定曜日の解除はできません。

1 モード選択スイッチを「動作」にします。（動作モード）



休止曜日の設定のしかた

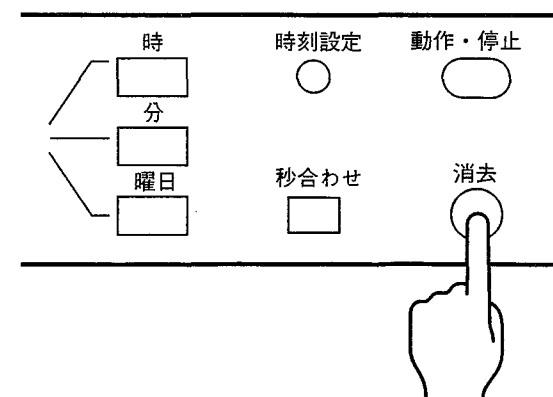
2 [休止曜日]スイッチを押してください。（休止曜日設定モード）



●全曜日表示が点滅します。ただし、すでに休止曜日が設定されている場合には、その曜日は点灯します。



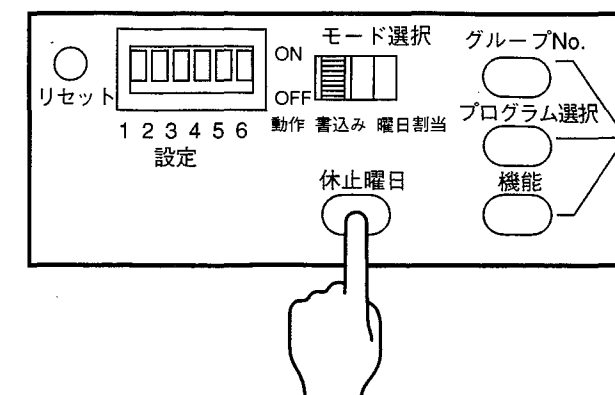
3 [消去]スイッチを一秒間押して、休止曜日の設定を解除してください。



●設定解除完了音（ピーッ）が鳴動します。全曜日表示が点滅し休止曜日設定が解除されたことを示します。



4 [休止曜日]スイッチを押してください。（休止曜日設定モードを終了）



5 プログラムを実行するときは、「プログラムを曜日に割り当てる」まで行った後、「プログラムの実行」(42ページ)を行ってください。

■ 休止曜日の確認

休止曜日を確認するときは、「休止曜日設定の解除」(36～37ページ)の手順1、2を行い、休止曜日を確認後、手順4で終了してください。

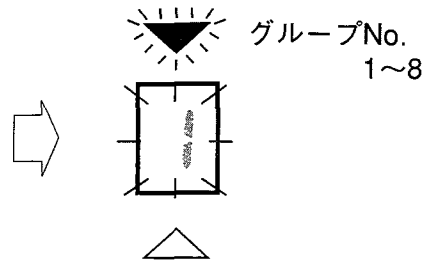
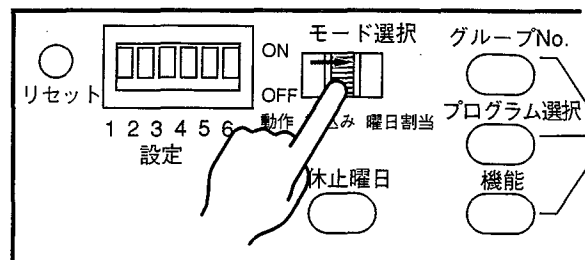
プログラムの消去のしかた

■プログラムの消去

プログラムグループの中に書き込んだプログラムの中一つだけ（1ステップ）を消去することができます。

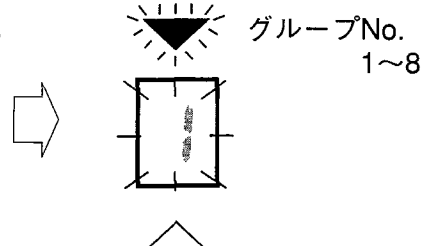
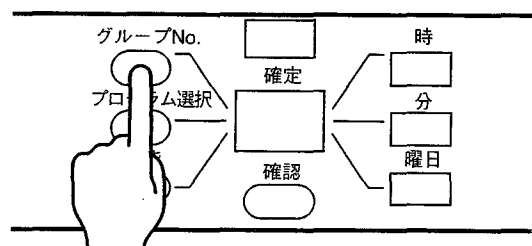
1 モード選択スイッチを「書込み」にします。（書込みモード）

●グループNo.表示が「1」で点滅します。



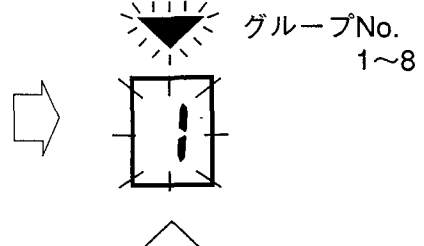
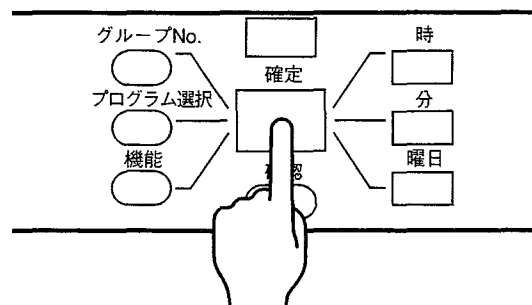
2 [グループNo.]スイッチを押して、消去するグループNo.を表示させてください。

●[グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。
「1」→「2」→「3」・・・「8」→「1」のように変わります。



3 [確定]スイッチを押してください。

●グループNo.表示が点灯に変わります。

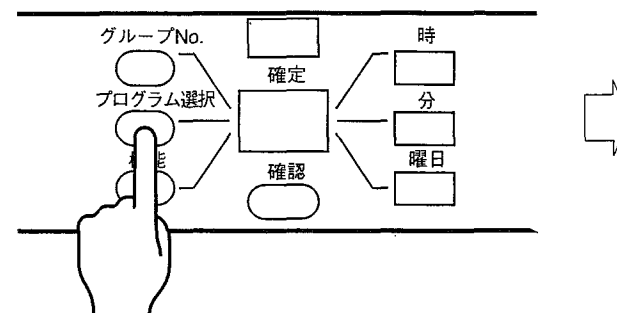


●全入力ソース表示灯が点滅します。



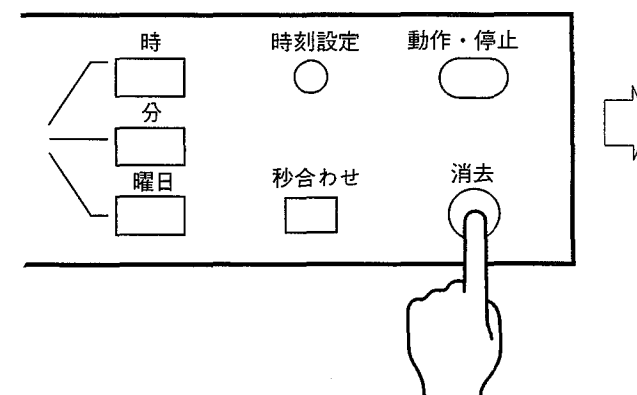
プログラムの消去のしかた

4 [プログラム選択]スイッチを押して、消去するプログラムを表示させてください。



●[プログラム選択]スイッチを押すごとに表示が次のプログラムの内容を表示します。最後まで行くと、入力状態に戻り、さらに押すと、先頭プログラムに戻ります。

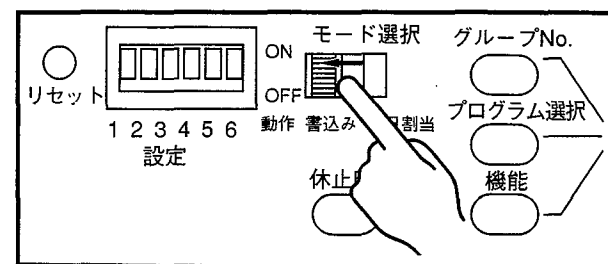
5 [消去]スイッチを一秒間押し続けてください。



●消去終了音（ピーッ）が鳴動し、操作2の状態に戻ります。

6 引き続き消去作業を続けるときは、操作2～4を繰り返してください。

7 モード選択スイッチを「動作」にします。（書込みモードを終了）



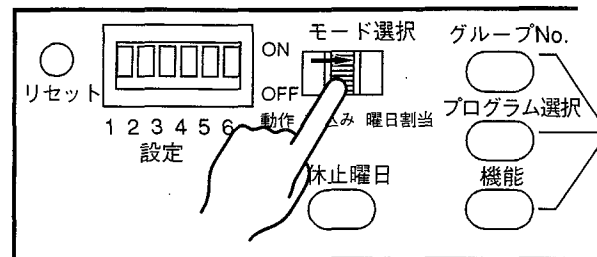
8 プログラムを実行するときは、「プログラムの実行」(42ページ)を行ってください。

プログラムの消去のしかた

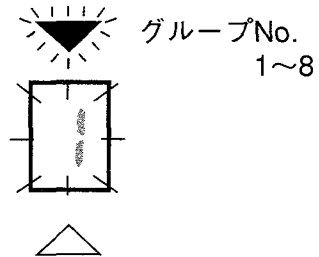
■プログラムグループの消去

プログラムグループの中に書き込んだプログラムのすべてを消去することができます。

1 モード選択スイッチを「書込み」にします。(書込みモード)

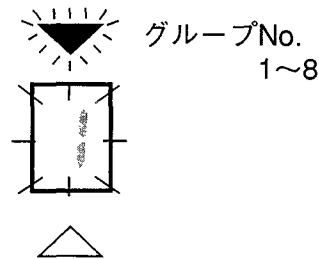
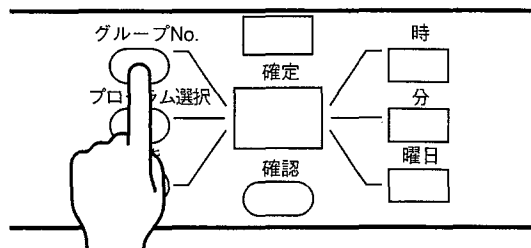


●グループNo表示が「1」で点滅します。



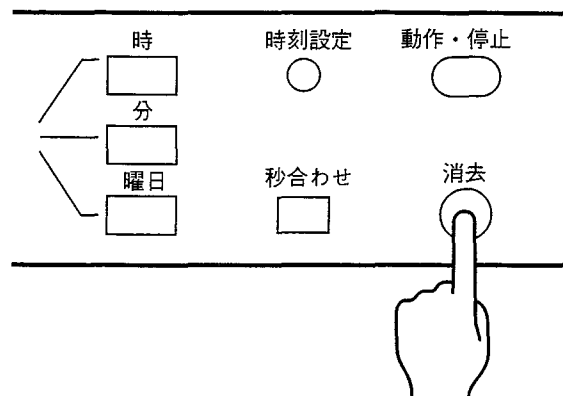
2 [グループNo.]スイッチを押して、消去するプログラムを含むグループNo.を表示させてください。

●[グループNo.]スイッチを押すごとに、表示が1ずつ増加します。一秒以上押し続けると、表示が早送りされます。
「1」→「2」→「3」・・・「8」→「1」
のように変わります。



3 [消去]スイッチを一秒間押し続けてください。

グループ内のプログラムをすべて消去します。

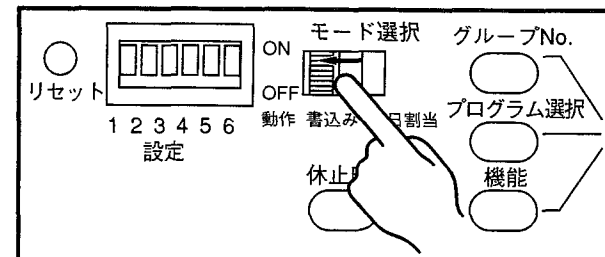


●消去終了音(ピーッ)が鳴動し、操作2の状態に戻ります。

プログラムの消去のしかた

4 引き続き消去作業を続けるときは、操作2~3を繰り返してください。

5 モード選択スイッチを「動作」にします。(書込みモードを終了)



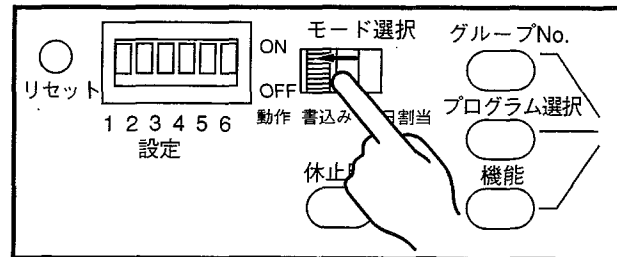
6 プログラムを実行するときは、「プログラムの実行」(42ページ)を行ってください。

プログラムの実行

■プログラムの実行

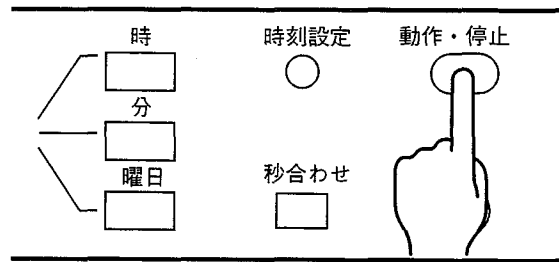
書き込んだプログラムを実行させるためには次のようにして、プログラムタイマー“動作中”にしておかなければなりません。

1 モード選択スイッチを「動作」にします。 (動作モード)

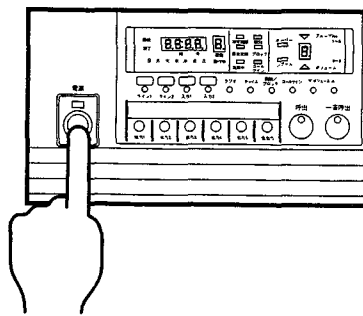


2 「動作・停止」スイッチを押して、動作中表示を点灯させてください。

●[動作・停止]スイッチを押すごとに、動作中表示点灯、消灯が切り換わります。



3 「電源」を切ります。



ご注意

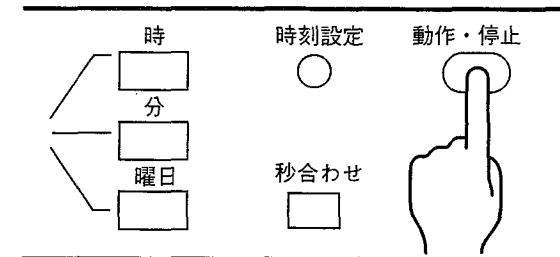
- プログラム放送中に、本体の電源スイッチを押して電源を切った場合、プログラム放送はただちに停止します。
- 開始表示は消灯しますが、動作中表示は点灯したままです。再び電源スイッチを押して電源を入れた場合、開始表示は点灯しますが、プログラム放送は再開しません。
- 本体の電源が入ってなくても、プログラム開始時刻になると、自動的に電源が入り、プログラム放送が実行されます。

プログラムの実行

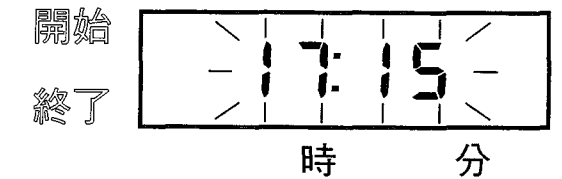
■プログラムの停止

プログラム放送中に、プログラムを停止します。

●[動作・停止]スイッチを押して、動作中表示を消灯させてください。



●プログラム放送は、直ちに停止し、開始表示が消灯します。

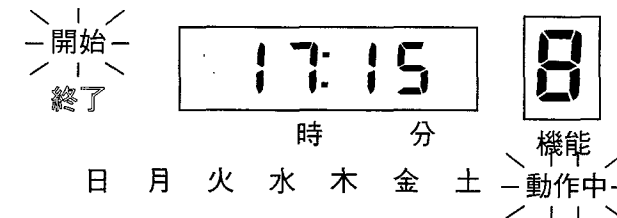


■停電時の動作(プログラムタイマー動作中停電になった場合)

動作表示点灯中に停電があった場合、動作中表示・開始表示は消灯します。プログラム放送中であった場合は、プログラム放送は停止します。

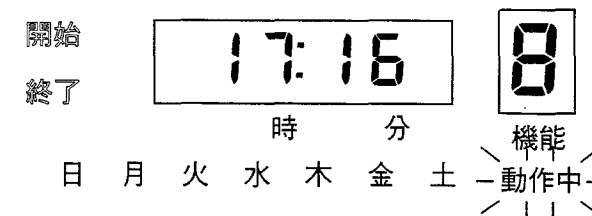
復旧時には、動作中表示は停電前の状態に戻りますが、プログラム放送は再開しません。開始表示も消灯したままです。復旧時刻後のプログラムは、プログラム通り動作します。

《停電前》



停電

《復旧後》



《プログラム時間割当シート》

グループNo. ()		00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
	時刻																										
	出力																										
	時刻																										
	出力																										
	時刻																										
	出力																										
	時刻																										
	出力																										
	時刻																										
	出力																										
	時刻																										
	出力																										
	時刻																										
	出力																										
	時刻																										
	出力																										

《プログラム曜日割当シート》

曜日	日	月	火	水	木	金	土
グループNo.							
曜日	日	月	火	水	木	金	土
グループNo.							
曜日	日	月	火	水	木	金	土
グループNo.							
曜日	日	月	火	水	木	金	土
グループNo.							
曜日	日	月	火	水	木	金	土
グループNo.							

《プログラム入力用シート》

グループNo. _____

ステップNo.	動作機器	出力ブロック	開始時刻		終了時刻		機能	備考
			時	分	時	分		
1		1・2・3・4・5・全						
2		1・2・3・4・5・全						
3		1・2・3・4・5・全						
4		1・2・3・4・5・全						
5		1・2・3・4・5・全						
6		1・2・3・4・5・全						
7		1・2・3・4・5・全						
8		1・2・3・4・5・全						
9		1・2・3・4・5・全						
10		1・2・3・4・5・全						
11		1・2・3・4・5・全						
12		1・2・3・4・5・全						
13		1・2・3・4・5・全						
14		1・2・3・4・5・全						
15		1・2・3・4・5・全						
16		1・2・3・4・5・全						
17		1・2・3・4・5・全						
18		1・2・3・4・5・全						
19		1・2・3・4・5・全						
20		1・2・3・4・5・全						
21		1・2・3・4・5・全						
22		1・2・3・4・5・全						
23		1・2・3・4・5・全						
24		1・2・3・4・5・全						
25		1・2・3・4・5・全						
26		1・2・3・4・5・全						
27		1・2・3・4・5・全						
28		1・2・3・4・5・全						
29		1・2・3・4・5・全						
30		1・2・3・4・5・全						
31		1・2・3・4・5・全						
32		1・2・3・4・5・全						